

研 究 発 表 会 開 催 通 知

(平成元年 9 月 15 日～10 月 31 日)

| 研 究 会 | 日 | 時 | 会 場 | 備 考 |
|--|--------------------------------|------------------------------------|----------------------|------|
| 計 算 機 ア ー キ テ ク チ ャ | 9 月 19 日 (火) | 14 : 00～17 : 00 | 機 械 振 興 会 館 | 前号参照 |
| ソ フ ト ウ ェ ア 基 礎 論 | 9 月 20 日 (水) | 10 : 00～17 : 00 | NTT(武蔵野) | 同 上 |
| コ ン ピ ュ ー タ ビ ジ ョ ン | 9 月 21 日 (木) | 13 : 00～17 : 00 | NTT(横須賀) | 同 上 |
| 自 然 言 語 処 理 | 9 月 21 日 (木) 9 月 22 日 (金) | 13 : 00～17 : 00 10 : 00～17 : 00 | NTT(武蔵野) | 同 上 |
| 知 識 工 学 と 人 工 知 能 | 9 月 22 日 (金) | 10 : 00～17 : 00 | 富 士 通 | 同 上 |
| ア ル ゴ リ ズ ム | 9 月 22 日 (金) | 13 : 00～17 : 10 | 群 大 | 同 上 |
| マ イ ク ロ コ ン ピ ュ ー タ と ワ ー ク ス テ ー シ ョ ン | 9 月 22 日 (金) | 14 : 00～17 : 00 | 電 機 大 | 同 上 |
| ソ フ ト ウ ェ ア 工 学 | 9 月 26 日 (火) | 10 : 00～16 : 30 | 京 大 会 館 | 同 上 |
| マ ル チ メ デ ィ ア 通 信 と 分 散 処 理 | 9 月 28 日 (木) | 13 : 00～17 : 00 | 機 械 振 興 会 館 | 同 上 |
| 記 号 処 理 | 9 月 29 日 (金) | 13 : 00～17 : 00 | 同 上 | 同 上 |
| プ ロ グ ラ ミ ン グ 言 語 | 10 月 5 日 (木) | 13 : 00～17 : 00 | 同 上 | 下記参照 |
| 情 報 学 基 礎 | 10 月 6 日 (金) 10 月 7 日 (土) | 13 : 00～17 : 30 9 : 00～12 : 15 | 国 立 歴 史 民 俗 博 物 館 | 同 上 |
| 数 値 解 析 | 10 月 7 日 (土) | 10 : 00～17 : 00 | 名 大 | 同 上 |
| グ ラ フ ィ ク ス と CAD | 10 月 19 日 (木) | 10 : 00～17 : 00 | 九 大 | 同 上 |
| 情 報 シ ス テ ム | 10 月 23 日 (月) | 10 : 15～16 : 15 | 機 械 振 興 会 館 | 同 上 |
| ア ル ゴ リ ズ ム | 10 月 24 日 (火) | 9 : 30～17 : 00 | 日 本 IBM | 同 上 |
| 設 計 自 動 化 | 10 月 24 日 (火) 10 月 25 日 (水) | 13 : 30～16 : 20 9 : 30～17 : 00 | 明 大 | 同 上 |

◆ 第 22 回 プログラミング言語研究会

(発表件数 : 4 件)

(主査: 箕 捷彦, 幹事: 上田和紀, 徳田雄洋, 戸村 哲)

日 時 平成元年 10 月 5 日 (木) 13 : 00～17 : 00

会 場 機 械 振 興 会 館 地 下 3 階 2 号 室

(東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, JR: 浜松町下車, バス: 渋谷-東京タワー線東京タワー, 渋谷-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車. Tel. 03 (434) 8211)

議 題

(1) 並列論理型言語 KL1 の多重参照管理によるガーベジコレクション 木村康則, 近山 隆 (ICOT)

(概要) KL1 のインクリメンタル GC 方式について提案し, 実験評価結果について報告する.

(2) 縮退した解析木上のインクリメンタルな解析

海尻賢二 (信州大)

〔概要〕 構文指向の環境では内部構造として解析木が使われるが、それを縮退させて各種の処理を行う方法について述べる。

(3) ストリームに基づいた並列意味処理の記述 西山博泰 (筑波大)

〔概要〕 言語処理系の意味処理をストリームに基づいた並列処理で記述する方法を提案し、実現の手法と性能予測をする。

(4) OZ: オブジェクト指向開放型分散システムアーキテクチャ
—オブジェクト指向型分散プログラミング言語の複数ユーザ環境への拡張—

塚本享治 (電総研), 田中伸明 (松下電器), 中込昌吾 (エービーシー)

近藤貴士 (シャープ), 水谷 功 (住友電気)

〔概要〕 複数ユーザ環境間でオブジェクトを交換しながら処理を進めるシステムを実現した。ネーミングとタイプの共有方法に工夫している。

◆ 第15回 情報学基礎研究会

(発表件数: 10件)

(主査: 藤原 譲, 幹事: 有川節夫, 岩野和生, 吉田郁三)

日 時 平成元年 10月6日 (金) 13:00~17:30

10月7日 (土) 9:00~12:15

会 場 国立歴史民俗博物館 管理棟 1階 大会議室

〔佐倉市城内町 117, JR (総武線): 成田行佐倉下車, バス: 田町車庫行国立歴史民俗博物館 前下車, または, 京成線: 成田行京成佐倉下車, 徒歩 12分. Tel. 0434 (86) 0123〕

10月6日 (金)

—13:00~17:30—

議 題 特集: マルチメディア・知識情報の意味を見直そう

(1) 歴史系支援多機能システムとデータの課題 八重樫純樹 (歴博)

〔概要〕 人文系研究は、ヒトの多様な機能により遂行される。ここではこれらの要求は多機能統合システムで実現するしかない。

(2) 新聞社における情報の収集・処理・保管 原田威男 (朝日新聞)

〔概要〕 新聞社で日常に行われている記事や画像の収集・処理・保管・二次利用の様子を、流れに沿って概観する。

(3) 通信技術文書の構造化, 体系化について 島 健一 (ATR)

〔概要〕 通信分野の専門知識を体系的に集めるためのハイパーテキストを用いた技術文書の構造化, 体系化について述べる。

(4) NeXT コンピュータの概要について 服部清幸 (キヤノン)

〔概要〕 分散処理 OS-MACH を搭載した高性能 WS NeXT の概要とその優れたユーザインタフェースの紹介。

(5) 関数型データモデルに基づく知識ベースの処理方式 朱 振元, 清木 康 (筑波大), 益田隆司 (東大)

〔概要〕 関数型データモデルに基づいて構成される知識ベースのデータ構造および処理方式について述べる。

(6) マルチメディアデータの自動入力機能を備えた地図データベースシステム

岡崎彰夫, 堀 修, 長尾真紀子, 高橋一重, 沼上英雄 (東芝)

〔概要〕 画像, 図形, 文字からなる大量のマルチメディアデータの地図データベース入力における自動化手法を提案する。

10月7日 (土)

—9:00~12:15—

(7) マルチメディア対話における個人性の考察 加藤俊一, 栗田多喜夫 (電総研)

〔概要〕 画像データベースでの知的検索において, 視覚心理の側面から利用者をモデル化することについて考察する。

(8) フィールド調査データ解析のためのマルチメディア知識・データベースシステム

曹 文君, 碓崎賢一, 打浪清一 (九工大)

〔概要〕 マルチメディアデータの抄録から基本情報を抽出, 知識を用いて調査データを解析するフレームシステムを述べる。

- (9) グラフデータモデル上に構築するマルチメディアデータベース 飯沢篤志 (リコー)
〔概要〕 グラフデータモデルを使ってマルチメディアデータベースを構築するための実現手段や問題点について議論する。
- (10) 意味データモデルに基づくデータベース: SIM における情報の表現 仁井谷智也子 (日本ユニシス)
〔概要〕 SIM では、データを単なる値としてではなく、実体の性質を表わす属性や実体間の関係として表現できる。
- (11) 見学: 歴史系マルチメディア情報処理支援システム
- * 国立歴史民俗博物館内の一般見学は有料です。また、宿泊をご希望の方は、湖畔荘(収容人数: 60名 Tel. 0434(84) 1011)へお問合せください。(注: 会場付近の宿泊施設少)

◆ 第30回 数値解析研究会

(発表件数: 11件)

(主査: 名取 亮, 幹事: 関口智嗣, 野寺 隆, 福井義成)

日 時 平成元年10月7日(土) 10:00~17:00

会 場 名古屋大学 工学部 8号館 南館 2階講義室

〔名古屋市千種区不老町1, 地下鉄: 東山線本山下車, 徒歩12分(四ツ谷通り三丁目交差点を渡り東へ).

Tel. 052 (781) 5111 内 5808)

—10:00~12:00—

議 題

- (1) Padé 近似による代数方程式の解法 桜井鉄也 (名大)
〔概要〕 有理式を連分数展開する Viscovatov の算法と Euclid の互除法を用いて、任意の収束次数の反復公式を得る。
- (2) 等角写像の高速解法の安定化 宋 殷志 (名大)
〔概要〕 等角写像の数値解法である Hübner と Wegmann の方法の低周波フィルタによる安定化について述べる。
- (3) 一般化 R. K. 法の一構成法 杉浦 洋 (名大)
〔概要〕 陰的 R. K. 法を1ステップ進める際の Newton 反復を有限回で止めた方法について述べる。
- (4) 直接法による FIR デジタルフィルタのフィルタ係数の数値解法 太田義一 (関西大)
〔概要〕 題目について一般に間接法より処理速度の大きい手法を記し、係数に特長のある連立方程式の処理方法などが内容。

—13:30~17:00—

- (5) 平方根を近似する高次収束法 小沢一久 (仙台電波高専)
〔概要〕 平方根に収束する高次収束法のアルゴリズムを導出し、その多倍長演算における計算効率を解析する。
- (6) 数値積分の計算効率向上方法 平山 弘 (神奈川工科大)
〔概要〕 性質の良くない関数を効率的に計算する方法(積分区間の分割と積分区間の近くにある特異点の除去)を提案する。
- (7) 半陰的ルンゲ・クッタ法の位相誤差特性 小藤俊幸 (富士通)
〔概要〕 対角型半陰的ルンゲ・クッタ法を、周期解をもつ常微分方程式系に適用した際の特性について論じる。
- (8) 代用電荷法に基づく等角写像とその逆写像の数値計算法 天野 要 (愛媛大)
〔概要〕 問題領域と標準領域の間のいずれの方向にも適用できる新しい数値等角写像の方法を提案する。
- (9) 3090 VF に適した最小二乗法プログラミング 寒川 光 (日本 IBM)
〔概要〕 最小二乗法で用いられる QR 分解のカーネルを、ベクトル・レジスタを効果的に使える形にループ再構成した。
- (10) 一般座標系における Multicolor SOR 法の効率について 藤野清次 (計算流体力学研)
〔概要〕 一般座標系における連立一次方程式の解法として多色 SOR 法を使用した時のベクトル計算機上での効率について述べる。

(11) Grid-Generation 法による3次元非圧縮 MHD 方程式の数値計算

武本行正 (四日市大), 中島徳嘉, 城之内忠正 (核融合研)

〔概要〕 3次元の一般化座標非圧縮 MHD 方程式の数値解析の方法について述べる。

◆ 第41回 グラフィクスと CAD 研究会

(発表件数: 9件)

(主査: 川合 慧, 幹事: 宇野 栄, 中嶋正之, 守屋慎次)

日 時 平成元年10月19日(木) 10:00~17:00

会 場 九州大学 総合理工学研究科 情報システム学専攻講義室

(春日市春日公園 6-1, JR(鹿児島本線):大野城下車, 徒歩15分, 西鉄:白木原下車, 徒歩20分, 福岡空港よりタクシー20分(九州大学筑紫キャンパス下車). Tel. 092 (573) 9611)

-10:00~12:00-

議 題

(1) 多面体細分割による人体曲面の生成 宇田紀之, 木村文隆, 鶴岡信治, 三宅康二 (三重大)

〔概要〕 多面体細分割の技法を用いて身体動作にともなう人体曲面の変形表現を試みる。

(2) ボクセル・データと面データを画像化するボリューム・レンダリング・アルゴリズム

宮沢達夫, 杉本和敏 (日本 IBM)

〔概要〕 ボクセル・データと面データを統一された枠組みで処理するレンダリング・アルゴリズムを提案する。

(3) フォトリアルな画像生成のための明度補正の一手法

西村健二, 中 俊弥, 平井 誠, 中瀬義盛 (松下電器)

〔概要〕 カメラや人間の目の特性を考慮して明度分布を補正するフォトリアルな画像生成手法を新たに提案する。

-13:00~17:00-

(4) 高品質な CG 画像生成におけるアンチエイリアシング手法 中 俊弥, 西村明夫, 中瀬義盛 (松下電器)

〔概要〕 高品質な3次元 CG 画像中に生じる量子化誤差を, 許容範囲以内に抑える画像フィルタを新たに提案する。

(5) 画像生成システム SIG 2 の性能評価 平井 誠, 西村健二, 安部美乃夫, 高島一哉 (松下電器)

〔概要〕 ラジオシティ法とスキャンライン法により動画を秒5コマ生成するマルチプロセッサシステムの動作解析と検討。

(6) 3次元立体集合演算のための並列プロセッサシステム 新実治男, 柴山 潔, 萩原 宏 (京大)

〔概要〕 3次元形状処理の高速化のための, 立体集合演算の並列処理専用マルチプロセッサシステムについて述べる。

(7) 三面図における拘束条件向き線分抽出 張 紹星, 西原清一, 西田 淳 (筑波大)

〔概要〕 三面図の面画間に成り立つ拘束条件に適した線分抽出法及び得られた拘束条件の性質について報告する。

(8) 非線形歪みを用いた多様な手書き風文字パターンの生成 塩野 充 (岡山理科大)

〔概要〕 ドット文字パターンに, 非線形歪みを印加して種々の手書き癖を持った手書き風文字パターンの生成を行った。

(9) 複雑な水流のシミュレーション 中川滋雄, 千葉則茂, 斎藤伸臣 (東北大)

〔概要〕 “流体粒子”と呼ぶ仮想的な流体の塊の行動モデルによる複雑な水流のシミュレーション法について報告する。

◆ 第26回 情報システム研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 伊吹公夫, 幹事: 鷹野 澄, 槻木公一, 西原良一)

日 時 平成元年10月23日(月) 10:15~16:15

会 場 機械振興会館 地下3階 2号室 (所在地は前記参照)

—10:15~12:00—

議 題 特集: CIMS

- (1) CIMS 特集開催にあたって 平野哲雄 (三井造船)
 [概要] CIMS 特集開催にあたり, CIMS の概要と, 今回開催する特集の意味を述べる.
- (2) 日本ユニシスの CIM 構築のための基礎技術と開発技法 野本雄一 (日本ユニシス)
 [概要] CIM 構築の基本的考え方を明らかにし, 構築に必要な基盤技術の整備とインテグレーションのための技法について.
- (3) 全社総合情報システム (TIS) 井塚敏雄 (日本製鋼所)
 [概要] 経営情報のタイムリな提供を目指して, 基幹共用データベースを中心とした水平分散システム検討の現状.

—13:00~16:15—

- (4) 光製鉄所 24 インチミル総合管理システム (NETS) 事例 脇田和郎 (新日鉄)
 [概要] 受注から出荷にいたる全工程をコンピュータにより総合管理し, 生産性向上を実現した事例を紹介する.
- (5) 造船業における CIMS へのアプローチ 伊藤 健 (日本造船振興財団)
 [概要] 一品受注生産で巨大な製品を対象とする造船業において検討中の, ユニークな CIMS の概要と特徴, 検討の現状を解説する.
- (6) 自動車体プレス型の自動生産システム 近藤幹夫 (日産自動車)
 [概要] プレス金型の設計から製作までに, 一貫した CAD/CAM/CAE/FMS を活用した生産システムの構築事例.
- (7) 日本精工(株)における CIM-MAGMA システム 小川忠夫 (日本精工)
 [概要] 約 20 年前からトップダウン方式で構築してきた日本精工(株)における CIM-MAGMA システムの要点を発表する.

◆ 第 11 回 アルゴリズム研究会

(発表件数: 9 件)

(主査: 野崎昭弘, 幹事: 今井 浩, 中村勝洋, 西関隆夫)

日 時 平成元年 10 月 24 日 (火) 9:30~17:00

会 場 日本アイ・ビー・エム 東京基礎研究所

[東京都千代田区三番町 5-19, 地下鉄: 半蔵門線半蔵門下車, 5 番出口より徒歩 3 分, 霞友会館近く.]

Tel. 03 (265) 4231]

—9:30~12:20—

議 題

- (1) ループ領域解析アルゴリズムとその応用 牧野正士 (日本 IBM)
 [概要] コントロール・フローグラフの静的解析に有用なループ領域解析のための効率的算法及びその応用について述べる.
- (2) 組合せ構造を優先した線分ポロノイ図の構成法 今井敏行, 杉原厚吉 (東大)
 [概要] 生成元が線分のポロノイ図の構成に組合せ構造を積極的に利用して計算誤差に強い算法ができることを示す.
- (3) 格子算法と乱数生成について 手塚 集 (日本 IBM)
 [概要] $GF\{2, x\}$ 上での格子算法と線形合同法との関係について検討する.
- (4) 動的 Blocked Warshall 法による推移的閉包アルゴリズム 舘下直純, 大柳俊夫, 大内 東 (北大)
 [概要] 大規模関係データベースの推移的閉包を求める動的 Blocked Warshall 法に対する新しい動的分割法を提案する.

—13:30~17:00—

- (5) アレンジメントと有向マトロイドにおける面列挙アルゴリズム

福田公明 (筑波大), 斉藤重正, 田村明久 (東工大), 徳山 豪 (日本 IBM)

〔概要〕 アレンジメントまたは有向マトロイドの極大面の集合からすべての面を列挙する多項式アルゴリズムの紹介.

(6) Cographic Multicommodity Flow Problem Andras Sebo (Grenoble Univ.)

〔概要〕 一般にコグラフィックマトロイド上の多種フロー問題は NP 完全であるが, 品種数が定数の場合には解けることを示す.

(7) Computational Complexity of the Method of Analytic Centers for Convex Programming

Florian Jarre (Univ. Wurzburg)

〔概要〕 線形計画法に対する新たな解法として注目されている内点法の一解法を, 凸計画問題に適用することを考える.

(8) A New Algorithm for the Continuous Modul Design Problem

E. Klafszky, J. Mayer, T. Terlaky (Eotvos Univ.)

〔概要〕 特殊な幾何計画問題を考え, それに対する主双対アルゴリズムを与える.

(9) On the Generic Rigidity of Plane Frameworks

Henry Crapo (INRIA)

〔概要〕 骨組み構造の剛性に関して, グラフ的特徴付けを与える.

◆ 第 49 回 設計自動化研究会

(発表件数: 13 件)

(主査: 平川和之, 幹事: 数馬好和, 神戸尚志, 山田輝彦)

日 時 平成元年 10 月 24 日 (火) 13:30~16:20

10 月 25 日 (水) 9:30~17:00

会 場 明治大学 (生田校舎) 6 号館 6517 号室

〔川崎市多摩区東三田 1-1-1, 小田急線: 生田下車, 徒歩 10 分, または向ヶ丘遊園下車, バス: 明大正門前行終点 (10 分). Tel. 044 (911) 8181 内 558〕

10 月 24 日 (火)

—13:30~16:20—

議 題

(1) 多値 SUM-PLA 簡単化の一手法 井口幸洋, 土井 強, 丸矢英之, 向殿政男 (明大)

〔概要〕 多値の SUM-PLA のチップ面積削減のために多値論理式の簡単化手法について述べる.

(2) 4 変数 AND-EXOR 最小論理式とその性質 神田徳夫 (徳山高専), 笹尾 勤 (九工大)

〔概要〕 4 変数関数を実現する積項数最小の AND-EXOR 論理式を表に示す. また, 最小論理式の性質を示す.

(3) CMOS 回路に適した BIST 用テストパターン発生器 吉田正昭 (日電)

〔概要〕 LSI におけるゲート使用頻度を考慮することにより, 簡単なハードウェア構成でスタックオープン故障検出率を高めた発生器について述べる.

(4) CIRCEL, VLSI computer aided design tools for mask level designs with integrated analog Simulator and process fault simulator Etienne Sicard, Kozo Kinoshita (広大)

〔概要〕 マスクレベルの VLSI-CAD ツール, 特にアナログシミュレータとプロセス故障シミュレータについて述べる.

10 月 25 日 (水)

—9:30~12:20—

(5) フェールソフトなフェールセーフ論理システムの構成について

坂井正善 (日本信号), 向殿政男 (明大)

〔概要〕 検出装置の故障に対してフェールソフトな特性を持つフェールセーフ論理システムの構成について述べる. これは一般化されたフェールセーフ論理システムの一構成法となっている.

(6) 多重化によるフェールセーフ設計

中島恭一 (姫工大)

〔概要〕 期待損失を最小にする多重化方式を明らかにし, 多重化により危険側出力誤り率が小さくなるための条件を与える.

- (7) 赤外線画像による回路の故障診断のための基礎検討-II 西野 聰 (小山工専)
 〔概要〕 回路中の IC の発熱温度を赤外線カメラにより検出し, IC レベルで故障診断を行うための検討を行った。
- (8) 推論とプローブによる組合せ回路の故障診断 山田輝彦, 濱田周治, 松本竜男, 高橋利彦, 中山尊雄 (明大)
 〔概要〕 推論とプローブを併用した組合せ回路の多重縮退故障の診断アルゴリズムとその性能について述べる。

—13:30~17:00—

議 題

- (9) 順序回路テストの構造と諸性質 中道松郎, 岡本享雄 (千葉大)
 〔概要〕 F.F. と組合せ回路部を深度別に分割し, 分割回路間の故障伝搬経路に着目し, テストの構造と諸性質を考察する。
- (10) 状態遷移記述を利用した順序回路テスト生成手法 中田恒夫 (富士通研)
 〔概要〕 状態遷移記述から自動合成された同期式順序回路に対する効率的なテスト生成手法について述べる。
- (11) パーシャルスキャンによるテスト容易化設計のための順序回路のテスト生成アルゴリズム 細川利典, 本原 章, 太田光保, 秋濃俊郎 (松下電器)
 〔概要〕 経路活性化と状態正当化に新しい手法を用い, パーシャルスキャンによるテスト容易化設計を考慮した同期式順序回路用のテスト生成アルゴリズムについて述べる。
- (12) バックトラック処理不要な組合せ回路テスト生成手法 池田光二, 畠山一実, 林 照峯 (日立)
 〔概要〕 実数演算によるシミュレーションを利用してバックトラックを排除したテスト生成手法。
- (13) テスト生成における並列処理の最適スケジューリング 井上智生, 藤原秀雄 (明大)
 〔概要〕 マルチプロセッサシステム上でテスト生成の並列処理を行う方法を述べ, タスク割当の最適スケジューリングについて考察する。

* 今回の研究会は電子情報通信学会 (フォールトトレラントシステム研究会) との共催で開催されます。上記会告は 7 月 28 日現在の申込みによるもので, プログラムは暫定的なものです。上記期日以降の申込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌の 9 月号に掲載されますのでご了承ください。

◆ヒューマンインタフェース研究会

今後の研究会の活動予定は以下のとおりです。発表ご希望の方は, 研究会発表申込書に発表題目と 50 字以内の概要を記入して, 学会事務局研究会担当までお申込みください。

第 27 回 小特集: 障害者インタフェースの課題 11 月 9 日 (木) 機械振興会館

- 議 題 (1) UI 開発へのオブジェクト指向アプローチ
 (2) 平均打鍵数による鍵盤ポイント方式の一設計法について
 その他

第 28 回 1 月 18 日 (木) 機械振興会館

第 29 回 3 月 8 日 (木) ATR (国際電気通信基礎技術研究所) 見学 (予定)

※来年度はシンポジウム開催を計画しております。ご意見などをお聞かせください。

◆コンピュータと教育研究会

第 8 回 研究会を下記のとおり開催いたします。奮ってご参加ください。なお, 詳細は次号 (10 月号) をご参照願います。

- 日 時 平成元年 11 月 9 日 (木) 13:00~17:00
 会 場 電気通信大学 図書館 AV ホール
 議 題 (1) 2000 年における情報処理技術者の需給予測について
 大里有生 (横浜国大), 御牧 義 (電通大), 乾 侑 (長岡技科大)
 (2) マイコンによる数学的モデル化教育試論 一松 信 (東京電機大)
 その他

◆ アルゴリズム研究会

第12回研究会を「**International Workshop on Discrete Algorithms and Complexity** (離散アルゴリズムと計算複雑度に関するインタナショナルワークショップ)」とし情報処理学会九州支部、電子情報通信学会(コンピュータ研究会)との共催で下記のとおりで開催いたします。離散アルゴリズムと計算複雑度などについて、海外から多くの参加者も予定し、幅広く議論を行います。多くの方々の参加をお待ちします。(なお、当日の発表は英語で行います。)

日時 平成元年11月20日(月)~22日(水) 各日 9:00~17:00 ※懇親会(20日)を予定しています。

会場 福岡リーセントホテル (812 福岡市東区箱崎 2-52-1 Tel. 092 (641) 7741)

トピックス: グラフ・ネットワークアルゴリズム, データ構造, 計算複雑度, 計算理論, 計算幾何学, 計算代数学, 計算論理学, 分散アルゴリズム, 並列アルゴリズム, データベース理論, VLSI アルゴリズム等。

発表論文 (受付順)

- (1) Deductive Data Base Support with NICE MP: Definition of an Access Schema Manager in a Persistent Object Environment
N. Le Thanh, M. Collard, G. Bonfils, F. Labene and S. Miranda (Univ. Nice, France)
- (2) Shortest Rectilinear Path among Rectangles
C. D. Yang, T. H. Chen and D. T. Lee (Northwestern Univ., US)
- (3) Alternating Turing Machines with Modified Accepting Structure
Katsushi Inoue, Akira Ito and Itsuo Takanami (Yamaguchi Univ., Japan)
- (4) Complexity Issues in Drawing Directed Graphs Peter Eades (Univ. Queensland, Australia)
- (5) Matching Parentheses in Parallel
Christos Levcopoulos and Ola Petersson (Lund Univ., Sweden)
- (6) Voronoi Trees and Applications Hartmut Noltemeier (Univ. Würzburg, FRG)
- (7) Multiversion Cautious Schedulers with Dynamic Serialization Constraints
Naoki Katoh (Kobe Univ. of Commerce, Japan), Toshihide Ibaraki (Kyoto Univ., Japan)
and Tiko Kameda (Simon Fraser Univ., Canada)
- (8) Processing Set Constraint Queries Utilizing Data Dependencies
Mizuho Iwaihara and Yahiko Kambayashi (Kyushu Univ., Japan)
- (9) Discrete Convolution with Modulo Operations Ricardo Ferré (Lund Univ., Sweden)
- (10) Pairwise Relatively Prime Generating Polynomials and Their Applications
C. C. Chang (National Chung Hsing Univ., Taiwan)
and J. C. Shieh (National Taiwan Univ, Taiwan)
- (11) A Single Key User Hierarchic Representation Mechanism
C. C. Chang and C. H. Chang (National Chung Hsing Univ., Taiwan)
- (12) Closure Properties of Alternating One-Way Multihead Finite Automata with Constant Leaf-Sizes
Hiroshi Matsuno (Oshima National College of Maritime Technology, Japan),
Katsushi Inoue and Itsuo Takanami (Yamaguchi Univ., Japan)
- (13) Bipartition of Biconnected Graphs
Hitoshi Suzuki, Naomi Takahashi and Takao Nishizeki (Tohoku Univ., Japan)
- (14) An Optimal Algorithm for Finding All the Cliques
Etsuji Tomita, Akira Tanaka and Haruhisa Takahashi (Univ. Electro-Communications, Japan)
- (15) A New Series of Δ_p^2 -Complete Problems Satoru Miyano (Kyushu Univ., Japan)
- (16) Vertex Classification Using the Convex Hull on a Sphere
Martin J. Dürst and Tosiyaasu L. Kunii (Univ. Tokyo, Japan)

- (17) Error-Free Image Compression with Gray Scale Quadrees and Its Optimization
Martin J. Dürst and Toshiyasu L. Kunii (Univ. Tokyo, Japan)
- (18) Optimum Resource Sharing in Pipeline Synthesis
Kazutoshi Yokoyama, Shin'ichi Wakabayashi, Jun'ichi Miyao
and Noriyoshi Yoshida (Hiroshima Univ., Japan)
- (19) Optimal Parallel Algorithms for Triangulating Certain Classes of Polygons
H. ElGindy (McGill Univ., Canada)
- (20) Grain Size Determination for Parallel Programs with Tree-Structures
Tsuyoshi Kawaguchi (Univ. Ryukyu, Japan)
- (21) Minimum Delay Networks
Jan-Ming Ho (Institute of Information Science,
Academia Sinica, Taiwan) and D. T. Lee (Northwestern Univ., US)
- (22) A Linear Time Algorithm for the Weighted Rectilinear Two-Center Problem
M. T. Ko (Institute of Information Science, Academia Sinica, Taiwan)
and Y. T. Ching (National Chiao Tung Univ., Taiwan)
- (23) κ -Neighborhood Covering and Independence Problems
Shiow-Fen Hwang and Gerard J. Chang (National Chiao Tung Univ., Taiwan)
- (24) 2-Edge-Connectivity Augmentation Problems for Directed Graphs
Masaya Takahashi and Toshimasa Watanabe (Hiroshima Univ., Japan)
- (25) On the Minimum Cost Subgraph Problem
Shigeru Masuyama (Toyohashi University of Technology, Japan)
- (26) A Dynamic Access Control Mechanism in Information Protection Systems
C. H. Lin (National Tsing Hua Univ., Taiwan), C. C. Chang (National Chung Hsing Univ.,
Taiwan) and R. C. T. Lee (National Tsing Hua Univ., Taiwan)
- (27) The On-Line Algorithm for the Serializability Preservation of the Distributed Data-Base-System
with Broad-Case Communication
Jun Okui (Nagoya Institute of Technology, Japan),
Mamoru Fujii and Mitsuteru Kataoka (Osaka Univ., Japan)
- (28) Some Results on Three-Dimensional Triangulations
Herbert Edelsbrunner (Univ. Illinois at Urbana-Champaign, US)
- (29) The Generalized Divide-and-Conquer Strategy and Its Application to Some Euclidean NP-Hard
Problems
R. Z. Hwang (National Tsing Hua Univ., Taiwan), R. C. Chang (National Chiao
Tung Univ., Taiwan) and R. C. T. Lee (National Tsing Hua Univ., Taiwan)
- (30) Robust Computation of Polygon Nesting
C. L. Bajaj and T. K. Dey (Purdue Univ., US)
- (31) On the Dynamic Shortest Path Problem
Chin Chung Lin and Ruei-Chuan Chang (National Chiao Tung Univ., Taiwan)

※ 詳細は次号 (10月号) をご参照ください。

情報処理学会 第 39 回 全国大会（平成元年後期）参加について

- 開催期日** 平成元年 10 月 16 日（月）～18 日（水）
会場 九州工業大学（北九州市戸畑区仙水町）
プログラム 詳細は本号黄色のページに掲載してあります。交通、会場などはプログラム末尾の会場案内図を参照してください。

一般参加の方へ

1. **総受付** 資料館ホール
 2. **参加費** 会員 1,000 円（賛助会員は 1 口 1 名として正会員に準じます。）
非会員 2,000 円（ただし電気、電子情報通信、照明、テレビジョンの各学会会員は会員扱いとします。会員番号を申し出てください。）
 3. **論文集 定価** 6,000 円（予約は締切りました。）
(当日、予約者以外にお頒けできるのは、残部のある場合に限りです。)
- ◎ 参加される方は、受付にて参加費を納め、参加章を受けとってください。参加章のない方は会場に入れません。

一般講演を行う方へ

1. 講演者は、講演の始まる前に、必ず各セッション会場前の講演者受付で、出席の確認を受けてください。
2. 講演者は、前の講演者の講演時間中に、座長席の近くに設けられた「講演者控」で待機するようにしてください。
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて、15 分を原則とします（都合により 13 分のセッションもあります）。講演中でも時間がくれば打ち切ります。
4. 講演終了時刻の 5 分前および 3 分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代読は認めません。

研究賞および学術奨励賞の表彰

大会初日（16 日）午前に平成元年度研究賞および第 38 回全国大会学術奨励賞受賞者の表彰を A 会場で行います。
(その他の一般注意)

1. 食堂、休憩室などはプログラムの会場案内図等を参照のこと。
 2. 電話の呼び出しはいたしません（万一止むを得ない場合のみ、伝言板に掲示：Tel. 093 (871) 5655）。
 3. 駐車場がないので、自家用車による参加はできません。
-

情報処理学会 第40回 全国大会実施要領

情報処理学会第40回全国大会（平成2年前期）を次の要領で開催します。

講演発表希望者は、実施要領を熟読のうえ、日程に従って所定の手続きを進めてください。

第37回から講演発表申込みは本論文で行い、論文締切後、ただちにプログラム編成委員会を開催し、プログラム編成を行うことになりました。

このため、講演申込、原稿用紙の請求、論文提出、講演日時のお知らせなどの方法が変更になっております。

論文締切日の厳守を徹底しますので、論文等の提出は必ず期日までにお願いいたします。一日でも遅れると発表できなくなりますので、特にご注意願います。

開催期日 平成2年3月13日(火)～16日(金)（ただし、13日は30周年記念全国大会講演予定）

会場 早稲田大学・理工学部（東京都新宿区大久保 3-4-1）

- 日程一覧**
1. 講演発表用原稿用紙等の請求
学会誌本号（Vol. 30, No. 9）掲載の請求書に記入して、応募規程 IV.1 の申込方法により請求してください。
 2. 原稿用紙等の送付
請求書を10月23日(月)に締切り、事務局から「講演発表申込書」、「論文原稿用紙」等をお送りします。
 3. 講演論文等の提出
講演論文（本原稿）、「講演発表申込書」等を一括して12月4日(月)までに、学会事務局に必着するようにご提出ください。応募規程 IV.2 参照。締切りに遅れますと発表できなくなりますので、特にご注意ください。
 4. プログラム編成委員会の開催
講演論文等を締切り次第、大会プログラムの編成および座長候補の推薦を行います。この後、ただちに事務局から座長のご依頼をいたします。
 5. 講演発表者には講演番号を1月中旬に到着するようご通知いたします。
 6. 大会プログラムを学会誌2月号（Vol. 31, No. 2）に掲載いたします。発表者は特にご注意ください。
 7. 論文集予約申込書を学会誌12月号（Vol. 30, No. 12）に掲載します。お早目にご予約ください。

応募規程

- I. 講演内容
 1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
 2. 発表は日本語または英語とします。
- II. 応募資格
 1. 登壇発表者は申込時に情報処理学会個人会員であること。
 2. 共同発表者は当学会個人会員であることが望ましい。
 3. 平成元年度会費未納の会員は発表できません。
 4. 電気、電子情報通信、照明、テレビジョン各学会会員は当学会会員と同様の取り扱いとします。ただし、表彰対象者にはなりません。
- III. 講演論文該当分野
 1. 情報科学一般
 - A. 一般
 - a. 哲学, b. 歴史, c. 伝記, d. その他
 - B. 社会
 - a. 規格, b. 標準化, c. 知的所有権, d. 社会問題, e. その他
 - C. 教育
 - a. 情報科学・工学の教育, b. カリキュラム, c. コンピュータリテラシ, d. CAI, e. 教育工学,

- f. その他
- 2. 基礎理論及び基礎技術
 - A. 情報数学
 - a. 形式論理, b. オートマトン理論, c. 形式言語理論, d. 計算可能性の理論, e. 計算の複雑さ, f. アルゴリズム論, g. グラフ理論, h. 組合せ理論, i. ファジー理論, j. 符号理論, k. 整数論, l. その他
 - B. 情報理論及び OR
 - a. 情報理論, b. 線形・非線形計画法, c. 動的計画法, d. 整数計画法, e. ゲーム理論, f. 待ち行列理論, g. その他
 - C. データ解析
 - a. 推定・検定, b. 確率モデル, c. 統計・確率計算, d. 多変量解析, e. その他
 - D. 数値計算
 - a. 誤差解析, b. 関数近似, c. 補間, d. 線形計算, e. 非線形方程式, f. 数値微積分, g. 常微分方程式, h. 偏微分方程式, i. 積分方程式, j. 極値問題, k. 最適化, l. 特殊関数, m. 数式処理, n. 乱数, o. その他
 - E. シミュレーション
 - a. 有限要素法, b. 境界要素法, c. 差分法, d. モンテカルロ法, e. その他
- 3. 人工知能及び認知科学
 - A. 基礎理論
 - a. 探索, b. 定理自動証明, c. 推論方式, d. 知識表現, e. 知識獲得, f. 非単調理論, g. 学習理論, h. コネクションイズム, i. その他
 - B. 人工知能システム
 - a. エキスパートシステム, b. ガイダンスシステム, c. エキスパートシステム作成支援ツール, d. ゲームプログラム, e. 演繹データベース, f. 知能ロボット, g. その他
 - C. 自然言語処理
 - a. 機械翻訳, b. 自然言語インタフェース, c. 対話システム, d. 形態素解析, e. 構文解析, f. 意味解析, g. 文生成, h. 談話理解, i. 文法, j. 辞書, k. その他
 - D. パターン認識
 - a. 音声認識, b. 話者識別, c. 画像理解, d. 物体認識, e. 文字認識, f. リモートセンシング, g. その他
 - E. 生体情報処理
 - a. 視覚, b. 聴覚, c. 神経モデル, d. ニューラルネットワーク, e. その他
 - F. 感性情報処理
 - a. 心理モデル, b. 行動モデル, c. 感情モデル, d. その他
- 4. データ処理
 - A. 音声処理
 - a. 音声分析, b. 音声合成, c. その他
 - B. 画像・図形処理
 - a. 画質改善, b. 帯域圧縮, c. 符号化, d. 曲面合成, e. トモグラフィ, f. 3次元処理, g. グラフィックス, h. アニメーション, i. その他
 - C. テキスト処理
 - a. ワードプロセッシング, b. 日本語入出力, c. 文書処理, d. 卓上出版, e. フォントデザイン, f. その他
 - D. マルチメディア処理
- 5. ソフトウェア
 - A. 基礎理論
 - a. プログラム理論, b. オペレーティングシステム理論, c. データベース理論, d. 形式的意味論, e. 算術論理, f. 検証理論, g. カテゴリ理論, h. 属性文法, i. 計算パラダイム, j. プログラム合成・変換, k. その他
 - B. プログラム言語及び仕様記述言語
 - a. 手続き型言語, b. 論理型言語, c. 関数型言語, d. オブジェクト指向言語, e. 並列処理言語, f. システム記述言語, g. 数式処理言語, h. シミュレーション言語, i. 仕様記述言語, j. その他
 - C. 言語処理系

- a. 構文解析, b. コード生成, c. 最適化, d. コンパイラ, e. インタプリタ, f. その他
- D. ツール
 - a. エディタ, b. デバッガ, c. ベリファイヤ, d. コンパイラジェネレータ, e. ウィンドウシステム, f. その他
- E. オペレーティングシステム
 - a. 記憶管理, b. 入出力管理, c. 障害管理, d. 通信管理, e. ファイル管理, f. ジョブ・タスク管理, g. 自動運転管理, h. 並列分散処理, i. 例外処理, j. 性能評価, k. その他
- F. データベース・情報検索
 - a. データモデル, b. データ言語, c. データベース設計, d. 質問処理, e. トランザクション処理, f. 一貫性制約, g. ファイル構成, h. 検索方式, i. 分散データベース, j. マルチメディアデータベース, k. その他
- G. プログラミング技術
 - a. データ構造, b. ガーベッジコレクション, c. ハッシング, d. ソーティング, e. サーチング, f. その他
- 6. ソフトウェア工学
 - A. 開発技術
 - a. 設計理論, b. 要求分析法, c. 仕様記述法, d. プログラミング方法論, e. プロトタイピング, f. 部品化・再利用技術, g. プログラム自動構成, h. その他
 - B. テスト・保守
 - a. プログラムのテスト・デバッグ, b. プログラム検証, c. 性能評価, d. プログラム解析, e. 保守運用管理, f. その他
 - C. ソフトウェアプロセス
 - a. プロセスモデル, b. プロセスプログラミング, c. 工程管理, d. その他
 - D. 開発環境
 - a. 構成理論, b. 分散開発環境, c. 文書化支援, d. その他
 - E. ヒューマンファクタ
 - a. マン・マシンインタフェース, b. 要員教育・プロジェクト管理, c. プログラミング行動, d. その他
- 7. ハードウェア
 - A. 基礎理論
 - a. 組合せ回路理論, b. 順序回路理論, c. 論理設計理論, d. レイアウトアルゴリズム, e. ハードウェアアルゴリズム, f. その他
 - B. 論理回路
 - a. 記憶回路, b. 演算回路, c. 制御回路, d. 誤り検出・訂正回路, e. テスト容易化回路, f. その他
 - C. デバイス
 - a. 論理デバイス, b. 記憶デバイス, c. 入出力デバイス, d. ASIC PLD, e. その他
 - D. アーキテクチャ
 - a. 汎用計算機, b. 専用計算機, c. スーパーコンピュータ, d. ワークステーション, e. 高級言語マシン, f. 非ノイマンアーキテクチャ, g. 並列アーキテクチャ, h. マイクロプログラム, i. フォールトトレランス, j. その他
 - E. 周辺・端末
 - a. 外部記憶, b. ディスプレイ装置, c. ハードコピー装置, d. 文字読取装置, e. 図形入出力装置, f. 音声入出力装置, g. その他
 - F. 設計技術及び設計自動化
 - a. 方式設計, b. 機能設計, c. 論理設計, d. レイアウト設計, e. テスト設計, f. 設計記述言語, g. シリコンコンパイラ, h. その他
 - G. 開発環境
 - a. 統合化ツール, b. 設計環境, c. 設計データベース, d. その他
 - H. テスト・検証
 - a. LSI テスト, b. ハードウェア設計検証, c. 性能評価, d. その他
- 8. ネットワーク
 - A. 通信技術

- a. データ交換方式, b. 通信方式, c. 画像通信, d. トラヒック理論, e. ネットワークアーキテクチャ, f. プロトコル, g. プロトコル検証, h. その他
- B. ネットワーク管理
 - a. 名前管理, b. 経路管理, c. 障害管理, d. その他
- C. コンピュータネットワーク
 - a. WAN, b. LAN, c. 電子会議, d. 電子掲示板, e. 電子メール, f. 分散処理, g. その他
- 9. システム
 - A. 対話型システム
 - a. 構成理論, b. 方法論, c. CAE, d. CAD, e. CAM, f. CIM, g. CAI, h. 管制システム, i. 訓練システム, j. 意志決定システム, k. オフィスシステム, l. その他
 - B. オンラインシステム
 - a. 予約システム, b. バンキングシステム, c. その他
 - C. 制御システム
 - a. プロセス制御, b. 数値制御, c. 通信制御, d. 産業用ロボット, e. FA, f. その他
 - D. システム評価
 - a. 評価技法, b. 評価指標, c. 評価モデル, d. その他
- 10. 信頼性と安全性
 - A. 信頼性
 - a. 信頼性理論, b. 保全性理論, c. 信頼性評価, d. 故障解析, e. その他
 - B. 機密保護
 - a. 暗号理論, b. 認証, c. 鍵管理, d. 鍵配送, e. セキュリティ, f. その他
- 11. 応用
 - A. 企業等への応用
 - a. オフィス, b. 行政, c. 経営, d. 金融, e. 情報サービス, f. 生産管理, g. 計算センタ運営, h. 教育, i. その他
 - B. 工学等への応用
 - a. 航空・宇宙, b. 機械, c. 土木, d. 建築, e. 都市, f. 電気・電子, g. 計測, h. 生物, i. 物理, j. 化学, k. 原子力, l. 輸送・交通, m. 医学・歯学, n. その他
 - C. 芸術等への応用
 - a. 音楽, b. 絵画, c. 商業デザイン, d. その他
 - D. その他への応用
 - a. 自然科学, b. 社会科学, c. 人文科学, d. 障害者補助, e. その他
- IV. 申込方法
 - 1. 発表を計画された時
本号みどりのページ掲載の「全国大会講演発表用原稿用紙等請求書」に必要事項を記入して申込むこと。
 - 2. 講演論文を提出される時
講演論文（本原稿）および講演発表申込書等を添えて申込むこと。
なお、連続発表を希望される場合は、別紙にて標題、講演者名および発表順番を明記し、申込書と原稿をまとめて送付すること。
- V. 申込件数
 - 1. 登壇発表は原則として1人1件とします。
 - 2. 2件以上になる場合は、1件ごとに発表料が必要です。また、別紙にて標題、発表分野を明記し、申込書と原稿をまとめて送付すること。
- VI. 申込料金
 - 1. 1件につき、1ページ論文は**6,000円**、2ページ論文は**7,000円**です。
 - 2. 講演申込書、論文等を提出する際、同時に納入してください。なお、納入後、発表申込を取消されても返金できませんのでご注意ください。
- VII. 論文提出

1. 論文は、**12月4日(月)**(必着)までに提出してください。
2. 論文は日本語または英語とします。
3. 論文抄録を「学会発表データベース(第一系)、学術情報センター」に入力することになりました。所定の用紙および記入要領に従って記入のうえ論文と一緒に提出してください。なお、著作権は学会と共有です。
4. ワープロ、タイプで作成した原稿はプリントした原文をお使いください。
5. 論文提出後の訂正は原則としてできません。
ただし、やむを得ない事情で訂正(本文の訂正に限ります)をしたい場合は、**1月12日(金)**一日(午前9時から午後5時まで)に限り、学会事務局2階にて訂正を受付けます。なお、郵便、電話等による訂正はできませんのでご注意ください。

VIII. 論文の採否

講演論文の採否は大会運営委員会(プログラム編成委員会)が決定する。採択しないものは、例えば次のような場合である。

1. 論文の内容が著しく不十分なもの。
2. 内容が商業宣伝に偏したもの(極端な商品名の引用には注意する)。
3. 同一または類似の発表がなされており、かつ前進がないもの。
4. 応募規程に違反するもの。
5. 提出期限に遅れたもの(次回への応募をお勧めします)。

IX. 論文集の配布

発表者には大会当日受付けにて、論文集全冊をお渡しします。

X. 発表論文の別刷はいたしません。

XI. 発表当日の講演者心得

1. 講演の始まる前に、必ず自分の発表会場の講演者受付で、出席の確認を受ける。
2. 必ず前の講演者の講演時間中には、座長席の前に設けられた講演者控で待機する。
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて15分間とします(都合により13分間のセッションもあります)。講演中でも時間切れで打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の5分前および3分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代理(読)は認めません。

XII. 申込先及び問合せ先

(社)情報処理学会 全国大会係

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (505) 0505

第 40 回 全国大会講演発表用原稿用紙等請求書

1. 発表を希望する者は氏名，住所，請求部数を記入して申込むこと，返信用宛名用紙にも同様に記入のこと。
2. 原稿用紙等の送料として1組希望の場合は郵便切手 175 円，2組以上の場合は1組増すごとに75円添付のこと。
3. 申込みは本用紙のコピーを郵送のこと。
4. 本号掲載の実施要領をよく読んで請求してください。
5. 返信用封筒はいりません。

氏 名 _____ Tel. _____

住 所 _____

請求部数 1 ページ発表…… _____ 組請求します。

2 ページ発表…… _____ 組請求します。

(切り取らずにお申込みください)

| | |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |
| | (氏名) (住所) |
| 情報処理学会第40回全国大会 原稿用紙在中 | |
| 1 ページ発表 | 組 |
| 2 ページ発表 | 組 |
| 殿 | |

「学習のパラダイムとその応用シンポジウム」開催について

標記のシンポジウムを企画したところ多数の申し込みがあり、審査の結果、下記のようにプログラムを決定しましたのでお知らせいたします。記号処理、ニューラルネット、エキスパートシステム、認知科学等における学習の考察を通じてドメインを超えた学習のパラダイムに向けて迫りたいと考えています。奮ってご参加下さい。

日 時 平成元年 11月 6日(月), 7日(火) 9:00~17:00
 場 所 機械振興会館(東京タワー隣)大ホール(地下2階)
 協 賛 人工知能学会
 参 加 費 正会員(情報処理学会または人工知能学会) 10,000円, 非会員 15,000円, 学生会員 1,500円
 (論文集のみ 3,000円, 送料 400円)
 申込締切 10月 20日(金)(定員 150名に達し次第締め切らせていただきます。)
 申 込 先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会シンポジウム係

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第1日(11月6日(月))

シンポジウム実行委員長挨拶 (9:00~9:10)

諏訪 基(電総研)

Session 1 ニューラルネット (9:10~10:55)

座長 元田 浩(日立)

- ニューラルネットワークを用いた陰喩理解
- Adaptive Junction の学習メカニズム

土井 晃一, 佐川 浩彦, 田中 英彦(東大)

味岡 義明(慶大), 石川 正俊(東大), 赤松 幹之(製科研), 安西祐一郎(慶大)

- 構造のある概念を対象とするコネクショニスト帰納学習

生天目 章(防衛大)

Session 2 特別講演 (11:10~12:10)

司会 諏訪 基(電総研)

- 神経回路網における学習のパラダイム

甘利 俊一(東大)

Session 3 学習の諸手法 (1:30~3:50)

座長 原口 誠(東工大)

- 概念間の差異による学習と文字認識への応用
- Understanding Metaphors by Frustration-Based Learning Method
- 問題解決と EBL による概念関係・概念記述の学習
- Memory-Based アプローチと規則学習

菅沼 義昇, 河合 克敏(名大)

諏訪 正樹, 元田 浩(日立)

山田 誠二, 辻 三郎(阪大)

佐藤 理史(京大)

Session 4 サーベイ (4:00~5:00)

司会 中島 秀之(電総研)

- 学習研究の分類学

畷見 達夫(長岡技大)

第2日(11月7日(火))

Session 5 学習の要素技術 (9:00~10:45)

座長 石塚 満(東大)

- 発想支援システム“知恵の泉”における類推機構の概要

折原 良平, 高柳 孝司, 長尾加寿恵, 菅野成一郎(東芝)

- 均質性に基づく論理体系の構築

島田 陽一, 堂下 修司(京大)

- SOAR の学習過程への多重文脈の導入

奥乃 博(NTT)

Session 6 招待講演 (11:00~12:00)

司会 畷見 達夫(長岡技大)

- 学習における推論の理論

原口 誠(東工大)

Session 7 招待講演 (1:15~2:15)

司会 中島 秀之(電総研)

- 認知科学から見た学習

福田 健(東大)

Session 8 パネル討論「学習のパラダイムとその応用」(2:30~5:00)

司会 堂下 修司(京大)

パネリストとテーマ

石川 真澄(電総研)

学習とニューラルネット

(テーマは仮)

佐藤理史 (京大)

学習と基本メカニズム

往住彰文 (聖心女子大)

学習と認知科学

戸沢義夫 (日本 IBM)

学習と応用システム

溝口理一郎 (阪大)

学習と知識獲得

「学習のパラダイムとその応用」シンポジウム

参加申込書

平成元年 月 日

申込者 氏名 _____

(一方を○で囲む)

加入学会 { 情報処理学会
 { 人工知能学会 会員 No. _____

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____ Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円

○論文集のみ (3,000 円, 送料 400 円) 冊

○送金方法

_____ 円を _____ 月 _____ 日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

| | |
|--------------------------------|------------------|
| 第一勧銀虎ノ門支店 1013945 | 富士銀行虎ノ門支店 993632 |
| 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 | 三井銀行本店 4298739 |
| 住友銀行東京公務部 10899 | 三和銀行東京公務部 21409 |
| 名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会 | |

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No.)

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通
請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください (この用紙のコピーで可)。

「マルチメディア情報と分散協調シンポジウム」開催について

標記シンポジウムを下記要領で開催することいたしましたので、多数の方々のご参加をお願いします。

記

日 時 平成元年 11 月 16 日 (木) 9:00~17:00
 場 所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)
 参加費 会員 6,000 円, 非会員 9,000 円, 学生 1,000 円 (論文集のみ 3,000 円, 送料 400 円)
 申込締切 平成元年 11 月 2 日 (木) (定員 150 名になり次第, 締切ります)

—— プ ロ グ ラ ム ——

招待講演 (9:00~9:40)

- 21 世紀へ向けての情報環境 相磯 秀夫 (慶大)

基調講演 (9:40~10:20)

- 知的 OA 実現のために 松下 温 (慶大)

セッション 1 アカデミック・ネットワーク (10:20~11:20)

司会 松方 純 (国文学研究資料館)

- 学術情報ネットワークの現状と構想 飯田 記子, 浅野正一郎 (学術情報センター)

- JUNET の国際電子メール通信

村井 純 (東大), 松方 純 (国文学研究資料館), 浅見 徹 (KDD)

—— 休憩 (11:20~13:00) ——

セッション 2 グループウェア (13:00~14:40)

司会 柳生 和男 (日立)

- Group Decision Support System 倉谷 好郎 (東京国際大)

- コンピュータを用いた人間の共同作業支援技術について 石井 裕, 大久保雅且 (NTT)

- マルチメディア分散在席会議システム MERMAID 渡部 和雄, 阪田 史郎, 福岡 秀幸 (日電)

東 浩, 中島 次男 (日本電気技術情報システム開発)

—— 休憩 (14:40~15:00) ——

セッション 3 分散協調と知識情報処理 (15:00~16:00)

司会 山崎 晴明 (沖電気)

- マルチ・エージェント・システム CoCo ー並列協調システムの実現を目指してー 石田 亨 (NTT)

- 分散型問題解決における問題解決プロトコル 北村 泰彦, 奥本 隆昭 (大阪市立大)

セッション 4 マルチメディア・インタフェース

司会 若山 博文 (NTT)

- マルチメディア情報の理解と相互インタフェース 恒川 尚 (東芝)

- 広帯域 ISDN ワークステーション (MONSTER)

勝山 恒男, 鎌田 肇, 鈴木 利光, 水口 有, 矢野 勝利 (富士通研)

「マルチメディア情報と分散協調」シンポジウム

参加申込書

平成元年 月 日

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____

_____ Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 6,000 円 非会員 9,000 円 学生会員 1,000 円

○論文集のみ (3,000 円, 送料 400 円) 冊

○送金方法

_____円を_____月_____日送金します。(金額, 送金月日を記入のうへ該当する送金方法を○印でかこむ。)

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 三井銀行本店 4298739

住友銀行東京公務部 10899 三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No.)

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください (この用紙のコピーで可)。

情報処理学会創立 30 周年記念事業賛助金の募集について

当学会はご存知のとおり、昭和 35 年 4 月 22 日に創立され、来年は創立 30 周年を迎えるに到りました。

3 月号巻頭で詳細にお知らせしたとおり、30 周年を記念して国際会議および記念全国大会の開催、記念論文の公募、記念出版、情報処理学会“未来像”の策定、ならびに記念祝典等の事業を計画、推進しております。

つきましては、会員各位が前記事業に積極的にご参加いただくとともに、事業運営に必要な経費 2 億 3,000 万円の一部 (目標 1,500 万円) につきご賛助を賜りたく、下記により賛助金を募集いたしておりますのでご協力をお願いいたします。

なお、ご賛同の方の金額・氏名は本誌本会記事欄にて報告いたします。

記

賛助金募集額 1 口 1,000 円 何口でも可

送金方法 4 月号巻末綴込の専用郵便振込用紙をご利用ください。

募集期間 平成元年 4 月～平成 2 年 3 月、なるべく早めにご送金ください。

「グラフィクスと CAD シンポジウム」開催について

標記のシンポジウムに関して、多数の論文をご応募いただき誠にありがとうございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催することにいたしましたので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

日時 平成元年 11 月 21 日 (火) 9 時～22 日 (水) 17 時

場所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)

参加費 正会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 1,500 円
(論文集のみ 3,500 円, 送料 400 円)

申込締切 平成元年 11 月 10 日 (金) (定員 150 名になり次第締切らせていただきます)

~~~~~プログラム~~~~~

メインテーマ インダストリアルデザイン

第 1 日 (11 月 21 日 (火))

開会 (9:00~9:10)

司会 宇野 栄 (日本 IBM)

●挨拶

川合 慧 (東大)

セッション 1 モデリング (9:10~10:00)

司会 中嶋 正之 (東工大)

●計算誤差による暴走のない図形演算アルゴリズム —スペースモデルによる実現

大沢 晃 (日立)

●傾斜面を含む 3 面図からの 3 次元形状自動合成方法

米田 稔 (小松製作所)

——休憩 (10:00~10:20)——

セッション 2 曲線処理 (10:20~11:10)

司会 西原 清一 (筑波大)

●多角形領域における工具経路用オフセット曲線の生成

梅崎 栄作 (日本工大)

●拡張 2 次有理 Bezier 曲線を用いた曲線近似法とそのベクトルフォント作成への応用

斉藤 剛, 穂坂 衛 (電機大)

セッション 3 曲面処理 (11:10~12:00)

司会 長島 毅 (日本ユニシス)

●有理曲面式による自由曲面形状の生成と評価

中島 洋, 木村 文彦, 山口 泰, 小林 一也 (東大)

●自由曲面の特徴及び評価に関係する諸量および表示

穂坂 衛, 東 正毅, 久志本琢也 (電機大)

——昼休み (12:00~13:00)——

セッション 4 形状デザイン (13:00~14:15)

司会 近藤 邦雄 (埼玉大)

●数理曲線による有機的形態の表現 —CASCULP-1

田中 四郎 (拓植大)

●インダストリアルデザインにおける自由曲面の入力について

浦野 直樹, 南方 博視, 栗山 繁 (日本 IBM)

●図形変形手法を用いたデザインシステムとその応用

加藤 陽一, 窪田 宏, 岩崎 謙次 (都立繊維工業試験場), 近藤 邦雄 (埼玉大)

セッション 5 招待講演 (14:15~15:15)

司会 福井 幸男 (製科研)

●インダストリアルデザインと CG

出原 栄一 (大阪芸大)

——休憩 (15:15~15:35)——

セッション 6 パネル講演 (15:35~16:50)

司会 服部 幸英 (日本鋼管)

●インダストリアルデザインにおける CG 技術動向の現状と展望

造形, 入力

倉賀野哲造 (ソニー)

形状表現, モデル

東 正毅 (豊田工大)

形状表示, 評価

小堀 研一 (シャープ)

——休憩 (16:50~17:00)——

セッション 7 パネル討論 (17:00~18:30)

司会 山口富士夫 (早大)

- インダストリアルデザインにおける CG への期待と限界

パネリスト 高梨 隆雄(東京工芸大), 倉賀野哲造(ソニー)
東 正毅(豊田工大), 小堀 研一(シャープ)

第2日(11月22日(水))

セッション 8 画像生成(9:00~10:15)

司会 上西 博文(日立)

- EWS を利用したダイナミックビジュアライゼーションシステム

岡 明男, 吉岡 謙(東芝 CAE), 出川 誠, 神田 節雄(東芝)

- 可変歩幅 DDA による3次元画像メモリ空間での光線追跡

田山 典男, 漆間 文俊, 清水 則明, 千葉 則茂(岩手大)

- 画面領域情報の選択による光線追跡法の高速化

鳥羽 弘康(千葉大)

—休憩(10:15~10:30)—

セッション 9 表示技術(10:30~11:20)

司会 間瀬 健二(NTT)

- サーフェース上のラインに対するZバッファ隠面処理技法

多苗 彰彦(日電)

- 2段階スキャンライン走査によるアンチエイリアシング

田中 俊光, 高橋時市郎(NTT)

セッション 10 アニメーション(11:20~12:10)

司会 福井 一夫(NHK)

- ボクセルチェーンによる実時間3Dアニメーション生成システム

石井 郁夫, 小野 尚紀, 大和 淳二, 牧野 秀夫(新潟大)

- 時間変化図形の生成・記述の基本機能

藤村 是明(電総研)

—昼休み(12:10~13:10)—

セッション 11 記念講演(13:10~14:10)

司会 川合 慧(東大)

- 制約に基づく形状処理

安藤 英俊(東大)

セッション 12 拘束設計(14:10~15:00)

司会 松井 俊浩(電総研)

- 設計データベース構築に向けた3次元モデリングにおける制約の記述とその管理

沼尾 雅之, 嶋田 憲司, 増田 宏, 川辺 真嗣(日本 IBM)

- 一般化パス拘束による図の生成

中山 健, 川合 慧(東大)

—休憩(15:00~15:20)—

セッション 13 演算法(15:20~16:10)

司会 小川 博(NTT)

- 曲線を含むポリゴンに対する4×4行列式法の適用理論

山口富士夫, 新関 雅俊, 福永 嘉之(早大)

- 画像の高速精密幾何学変換 一対数表現数値演算法の利用

黒河 富夫(愛知工大)

セッション 14 マンマシンインタフェイス(16:10~17:00)

司会 守屋 慎次(電機大)

- マルチスクリーングラフィクス MCMS システムを用いた論理回路設計支援

國島 丈生, 松本 忍, 荻野 博幸, 平石 裕実, 矢島 脩三(京大)

- Xウィンドウ上の MOVIE. BYU

船戸 康徳, 今宮 淳美(山梨大)

「グラフィクスと CAD」シンポジウム

参加申込書

平成元年 月 日

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____

Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円

○論文集のみ (3,500 円, 送料 400 円) 冊

○送金方法

_____ 円を _____ 月 _____ 日送金します。(金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)

a. 現金書留 (送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945

富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

三井銀行本店 4298739

住友銀行東京公務部 10899

三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No.)

請求書

通, 見積書

通, 納品書

通

請求先

注) 申込書は1枚1人としてください(この用紙のコピーで可)。

本会協賛等の行事案内*

平成元年度 AVIRG-SMC サマーセミナー

平成元年 9 月 19 日 (火)

東京大学工学部第 11 号館

講習会「実用の時代に入ったファジィ制御」

平成元年 10 月 3 日 (火)

東京・家の光会館

ファジィ制御基礎講習会

平成元年 11 月 6 日 (月)~7 日 (火)

東京理科大学 1 号館

平成元年 12 月 7 日 (木)~8 日 (金)

大阪・なにわ会館

シンポジウム「金属材料の新しい画像解析技術」

平成元年 11 月 13 日 (月)

東京・新丸ビル

知識情報と知的コンピュータに関する国際シンポジウム

平成元年 11 月 14 日 (火)

名古屋市商工会議所

文部省科学研究費重点領域研究「知的情報通信」第 2 回公開シンポジウム

平成元年 11 月 15 日 (水)

名古屋市商工会議所

システム制御情報チュートリアル講座イーブニングスクール (D) コース「ファジィモデリングの基礎」

平成元年 11 月 17 日 (金), 21 日 (火), 24 日 (金), 28 日 (火), 12 月 4 日 (月)

大阪マーチャンダイズマートビル

* 詳細は本号会議案内欄参照

「利用者指向の情報システムシンポジウム」開催について

情報システムが社会に急速に普及し浸透している今日、利用者指向の情報システムをいかに実現するかが重要な課題となっております。特に、組織体の総体から見た情報システムの計画・分析・設計など、システムインテグレーションの方法論や、客観的な評価手法などについては、理論的な研究も実際的な応用事例も少なく、体系的な議論が不足しております。そこで本シンポジウムでは、利用者指向の情報システムの計画・分析・設計・評価の方法論、ならびに、その具体的な適用事例や研究動向などを展望し、幅広い立場から討論を行う予定です。この問題に関心を持つ情報システムの設計者、開発・運用担当者、利用者、管理者およびこの分野の研究者の参加をお願いします。

日 時 平成元年 12月 8日 (金) 9:40~19:30

9日 (土) 9:40~17:10

場 所 東京大学山上会館 (113 東京都文京区本郷 7-3-1)

地 下 鉄・丸の内線「本郷三丁目」下車 徒歩 10分

・千代田線「湯島」または「根津」下車 徒歩 15分

バ ス・「東大赤門前」下車 徒歩 3分

スクールバス・JR お茶の水駅より「東大病院前」下車 徒歩 1分

・JR 上野駅より「東大病院前」下車 徒歩 1分

参 加 費 正会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 1,500 円

(論文集のみ 3,500 円, 送料 400 円)

懇 親 会 発表者やパネラとの個別討論や参加者どうしの親睦の場です。奮ってご参加ください。会費 3,000 円

(参加費と一緒にお申し込みください)

申 込 締 切 平成元年 11月 15日 (水)

(定員 100 名になり次第締切らせていただきます)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第 1 日 (12月 8日 (金))

開会の辞 (9:40~ 9:50)

伊吹 公夫 (東京工科大)

招待講演 (9:50~10:50)

司会 伊吹 公夫 (東京工科大)

● 情報システムの品質

三浦 大亮 (東レシステムセンター)

—— 休 憩 (10分) ——

セッション 1 (11:00~12:15)

座長 槻木 公一 (JR 総研)

● カプセル化手法を用いた情報系データベースの一貫性維持について

山田 信雄, 堀内 一*, 田中 和明*, 大沢 康夫, 藤原 明
沢 ゆかり (三和システム開発, *日立)

● ユーザ指向のデータベース・システムへ構造データの処理と演繹機能

高須 淳宏 (学術情報センター), 倭 欣也 (日立), 大須賀節雄 (東大)

● 小規模・多目的システムの開発方法についての一考察

— 日本語教育学習支援システムをめぐる —

鈴木 秀登, 村山 実, 下山 禎一, 遠山 元道, 浦 昭二 (慶大)

—— 昼 食 (60分) ——

セッション 2 (13:15~14:55)

座長 上野 滋 (総合ソフトウェア研究所)

● ロシア人形とスゴロク

— SA 手法 (CASE) とフローチャート手法を比較して —

坪内真知子 (マイズ)

- 情報システムのユーザ適応の条件と変化について 藤中 恵 (日立通信システム)
 - SIAM における利用者ニーズの分析と活用 ソムジャリー・プリーヤノン・タカハシ (慶大)
 - ISM 教材構造化法を利用したわかりやすい説明資料の作り方 佐藤 良順, 近藤 智子 (武田薬品工業)
- 休憩 (20分) ——

パネル討論会 (15:15~17:15)

司会 松谷 泰行 (多摩大)

- 情報システム・エンジニアの育成

外山 晴夫 (日本ユニシス), 橋山 直人 (花王), 松尾 行彬 (東洋情報システム)
道下 忠行 (東海大), 荻部 英司 (日本 IBM)

—— 移動 (15分) ——

懇親会 (17:30~19:30)

於 山上会館 (地下食堂)

発表者やパネラとの個別討論や参加者どうしの親睦の場です。奮ってご参加ください。会費 3,000 円
(参加費と一緒にお申し込みください)

第 2 日 (12 月 9 日 (土))

基調講演 (9:40~10:40)

司会 鷹野 澄 (東大)

- SIS 構築を意識したシステム・アーキテクチャのコンセプト

浅輪 寿男 (住友スリーエム)

—— 休憩 (10分) ——

セッション 3 (10:50~12:30)

座長 平野 哲雄 (三井造船)

- 経営活動における情報システムの評価事例
- 類型化モデルに基づく情報システムの評価と計画

初瀬川 茂 (東芝)

歌代 豊, 出川 淳, 高寺 正人 (三菱総合研究所)

- DOAM ファイルサーバのシミュレーションとシステム評価

越田 一郎, 伊吹 公夫 (東京工科大)

- 製鉄所設備管理システムにおける開発の進め方

— 利用部門及びシステム部門共同によるシステム開発事例 —

箭川 旭, 牧 克彦, 妹尾 利夫 (新日鉄情報通信システム)

—— 昼食 (60分) ——

セッション 4 (13:30~15:10)

座長 上田 昭雄 (NHK コンピュータサービス)

- TCP/IP におけるインターネットワークの構築に関する考察
- 「ASAHI パソコン・ネット」における利用者インタフェースの設計と実装

村上健一郎 (NTT)

梅村 守, 岩崎 慎一, 鈴木 浩, 滝口 彰, 伊藤 重人 (朝日新聞社)

- 利用者指向の診断システムとその適用事例

篠原 専二, 富井 規雄, 佐藤 紀生, 奥秋 清次 (JR 総研)

- 自然画像入力による現場状況解析システムの設計

神沼 靖子 (帝京技術科学大)

—— 休憩 (20分) ——

セッション 5 (15:30~17:10)

座長 西原 良一 (日本ユニシス)

- 「超流通」研究計画の現在
- これからの情報システムとその課題

森 亮一, 篠崎 雅英, 秋葉 喜之 (筑波大)

- システムインテグレーションに関する一考察

下司 英機 (名古屋市熱田区役所)

- 情報システム・インタフェース開発のライフサイクル

伊吹 公夫 (東京工科大)

閉会 (17:10)

「利用者指向の情報システム」シンポジウム

参加申込書

平成元年 月 日

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____

Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円

○論文集のみ (3,500 円, 送料 400 円) 冊

○懇親会参加費 3,000 円 (参加費と一緒に申し込みください.)

○送金方法

_____ 円を _____ 月 _____ 日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ).

a. 現金書留 (送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

| | |
|--------------------------------|------------------|
| 第一勧銀虎ノ門支店 1013945 | 富士銀行虎ノ門支店 993632 |
| 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 | 三井銀行本店 4298739 |
| 住友銀行東京公務部 10899 | 三和銀行東京公務部 21409 |
| 名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会 | |

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No. _____)

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通
請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください (この用紙のコピーで可).

講演会「LOTOS の開発」開催について

ソフトウェアの仕様記述におけるあいまいさを排除するため、各種の形式仕様記述言語 (Formal Specification Languages) が開発されています。ISO/IEC JTC1 では、これらを FDT (形式記述技法: Formal Description Techniques) と呼び、OSI (Open Systems Interconnection) の記述用に LOTOS と Estelle を国際規格化し、LOTOS による各層のサービス定義やプロトコル仕様の記述を開始しています。今秋、LOTOS のプロジェクトエディタを担当していた Prof. Brinksma が来日するのを機に、LOTOS の開発経緯、GLOTOS など今後の拡張計画について説明してもらいます。多数の方々のご参加をお願いいたします。

日時 1989年10月13日(金) 14:00~17:00

場所 郵便貯金会館5階 瑞雲

東京都港区芝公園 2-5-20 Tel. 03 (433) 7211

主催 (社)情報処理学会 情報規格調査会 (IPJS/ITSCJ)

Tel. 03 (431) 2808 FAX. 03 (431) 6493

後援 通商産業省 工業技術院 電子技術総合研究所

参加費 正会員および規格賛助会社社員 4,500円, 非会員 6,500円, 学生会員 800円

申込締切 1989年10月6日(金) (定員100名になり次第締切らせていただきます)

プログラム

講演テーマおよび講演予定者

形式仕様記述言語 LOTOS (Language of Temporal Ordering Specification) の開発について

Prof. Ed Brinksma University of Twente (オランダ)

解説者: 電子技術総合研究所 情報アーキテクチャ部言語システム研究室 二木 厚吉

講演会「LOTOS の開発」

参加申込書

1989年 月 日

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____

Tel. _____

標記講演会の参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員および規格賛助員会社社員 4,500円, 非会員 6,500円, 学生会員 800円

○送金方法

_____円を_____月_____日送金します。(金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)

a. 現金書留

送金先 105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3号
(社)情報処理学会 情報規格調査会

b. 銀行振込

三菱銀行 虎ノ門公務部 普通預金 0022635
名義人 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3号
社団法人 情報処理学会 情報規格調査会 池田芳之

請求書類の必要な方はお申出ください。

請求書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください (この用紙のコピーで可)

「談話理解モデルとその応用シンポジウム」開催のお知らせ

談話理解は自然言語処理の中でも近年活発な研究がなされている領域です。自然言語処理研究会では、談話理解研究の現状を総括するとともに、将来を展望する目的で下記の予定でシンポジウムを開きます。皆様、奮ってご参加ください。

日 時 1989年11月16日(木), 17日(金)

場 所 ATR 自動翻訳電話研究所(京都府相楽郡精華町乾谷・三平谷)

スケジュール

16日(10:00~18:00)

- 招待講演「談話の世界とその計算モデル」 片桐 恭弘 (NTT)
- 招待講演「談話・推論・文脈」 山梨 正明 (京大)
- パネル「応用の立場から見た談話理解モデル」
司会 野村 浩郷 (九工大)
パネラ 飯田 仁 (ATR), 石崎 俊 (電総研), 浮田輝彦 (東芝), 鈴木浩之 (松下電器), 田中裕一 (ICOT)
- ATR 見学
- 懇親会

17日(10:00~17:00)

- 一般講演 公募論文の発表(約10件)

「談話理解モデルとその応用」シンポジウム

参加申込書

1989年 月 日

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先(住所, 会社名, 所属) 〒 _____

Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

参加費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000円 非会員 15,000円 学生会員 1,500円

論文集のみ (3,000円, 送料400円) 冊

送金方法

_____円を_____月_____日送金します。(金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ。)

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

| | | | |
|--------------------------------|---------|-----------|---------|
| 第一勧銀虎ノ門支店 | 1013945 | 富士銀行虎ノ門支店 | 993632 |
| 三菱銀行虎ノ門公務部 | 0000608 | 三井銀行本店 | 4298739 |
| 住友銀行東京公務部 | 10899 | 三和銀行東京公務部 | 21409 |
| 名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会 | | | |

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No. _____)

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通
請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください(この用紙のコピーで可)。

「1990年並列処理シンポジウム JSPP '90」論文募集

情報処理機械としてのコンピュータの出現以来、効率のよい並列処理の実現は夢でありつづけてきました。近年のハードウェアの進歩はその夢を可能にする技術的基盤を与えているように思えます。ある人は、現在の技術水準を評して、並列処理という永遠の女神の後髪をつかんだと言います。ハードウェア、ソフトウェアから応用まで、また、理論からシステム構築まで、並列処理技術に関する広い範囲の話題について議論し、技術水準の向上につとめようではありませんか。

- テ ー マ** (1) 並列処理の基礎理論 (計算モデル, ネットワークなど)
 (2) 並列アルゴリズム
 (3) 並列処理ソフトウェア (言語, オペレーティングシステム, データベース処理など)
 (4) 並列計算機アーキテクチャ
 (5) 並列処理の応用
 (6) その他, ニューロンコンピューティング, 光コンピューティングなど
- 日 時** 1990年5月17日(木)～5月19日(土)
- 場 所** 工業技術院筑波研究センター共用講堂 (茨城県つくば市東 1-1-4)
- 申込締切** 1989年12月20日
 発表申込票に必要事項を記入し, A4判1ページ(1,500字程度)の発表概要を添えてお申し込みください。実行委員会において審査を行います。
- 原 稿** 185 国分寺市東恋ヶ窪 1-280 (株)日立製作所 中央研究所第8部
- 送 付 先** 田中輝雄 Tel. 0423 (23) 1111 (Ex. 3811) Fax. 0423 (26) 2130
 E-mail ttanaka@crl.hitachi.co.jp
- 共 催** 情報処理学会データ・ベース研究会, 同計算機アーキテクチャ研究会, 同オペレーティング・システム研究会, 同数値解析研究会, 同プログラミング言語研究会, 同アルゴリズム研究会, 電子情報通信学会コンピュータシステム研究会
- 協 賛** ソフトウェア科学会
- 日 程** 1989年12月20日(水) 発表概要締切
 1990年1月31日(水) 審査結果通知
 4月11日(水) カメラレディ原稿締切
- 主 な 実行委員** 委員長 弓場敏嗣 (電総研)
 副委員長 長島重夫 (日立), 米澤明憲 (東工大)
 幹 事 後藤厚宏 (ICOT), 田中輝雄 (日立), 山口喜教 (電総研)

発 表 申 込 票

発表題目:

発表者 (略称所属):

連絡先:

(Tel. Fax.)

キーワード (3個程度):

第 2 回 「統合ネットワーク管理」 国際シンポジウム論文募集 (第 2 版)

- 目 的** IFIP の国際シンポジウムであり、統合ネットワーク管理の実現に向けて、製品開発者、システム統合者、研究者および利用者間で、情報交換・意見交換を行う。
なお、第 1 回は、1989 年 5 月にボストンで開催され、非常に盛況であった。
- 内 容** トータルシステム管理への要求条件
モデルとアーキテクチャ
OSI およびその他の標準の適用
障害、構成、会計、性能およびセキュリティ管理
サービス品質管理
管理情報の定義と格納
管理プロトコル
異機種システムの管理
管理領域の原則と実際
ネットワーク間の管理問題
AI 技術
利用者インタフェースおよび管理言語
管理のための分散オペレーティングシステム
実装およびケーススタディ
- 論文形式** シングルスペースで A 4 最大 12 ページ
- 日 時** 1990 年 10 月/11 月の 4 日間 (詳細未定)
- 場 所** Palais des Congres, Antibes on French Riviera (予定)
- 原稿締切** 1990 年 2 月/3 月 (詳細未定) 論文審査有り
- 問合せ先** NTT ネットワークシステム開発センター 通信網技術部 森野和好
100 東京都千代田区内幸町 1-2-1 日土地ビル
Tel. 03 (509) 5260 FAX. 03 (597) 0462
-



IFIP “ARCE” 論文・演示募集



教育におけるコンピュータ利用の新しい方法 Advanced Research on Computers in Education

本学会では IFIP TC 3 と共催で、教育におけるコンピュータの知的利用技術に関する国際会議を開催します。ペーパーセッションで発表する論文と、エキジビションセッションで演示する教育システム、教育ツールを下記の要領で募集します。

会議後、論文集が Elsevier 社から出版される予定です。

- 主催** (社)情報処理学会, IFIP/TC 3/WG 3.3
- 協賛** 人工知能学会, 電子情報通信学会, CAI 学会, 日本教育工学会, コンピュータ教育開発センター
- 会期** 1990年7月18日~20日
- 会場** 学習院大学 (予定)
- テーマ**
- New Learning Environments
 - Knowledge Representation of Educational Systems
 - Knowledge Acquisition for Educational Systems
 - Theoretical Foundation of Intelligent Tutoring Systems
 - Architecture of Intelligent Tutoring Systems
 - Empirical Foundation on Intelligent Tutoring Systems
 - Identification Technique for Error Origins
 - Student Modeling
 - Teaching Paradigms
 - Qualitative Simulation
 - Consultation Technique
 - Learner-machine Interface
 - Machine learning in Educational Systems

論文投稿要領 A 4 用紙に 12 pt ダブルスペースでタイプして、図表を含めて 10~20 ページの範囲の英語論文 4 部。100 ないし 200 語のアブストラクトと、テーマの中から最も関連の深い項目を選んで添付してください。

演示応募要領 300 ないし 400 語の英文アブストラクトと、所定の応募用紙を提出してください。

期日 1989年11月15日 (論文提出, 演示申込)

1990年2月1日 (採録通知)

問合せ先 820 飯塚市大字川津 680-4 九州工業大学情報工学部 大槻説乎

Tel. 0948 (28) 5606 FAX. 0948 (28) 5582



IFIP "WCCE/90" 論文募集

教育におけるコンピュータ世界会議
5th World Conference on Computers in
Education



IFIP TC3 では、教育におけるコンピュータ利用全般に関する国際会議を下記の要領で開催します。この会議は5年に一度開催され、約60カ国から2,000人近くの研究者が参加します。ヨーロッパ・アフリカ地域、南北アメリカ地域、アジア・オセアニア地域で交代で開催されることになっており、今回はアジア・オセアニア地域で開催されます。是非、多数ご応募ください。

会 期 1990年7月9日～13日
場 所 オーストラリア、シドニー
テ - マ

- ・ Informatics in Elementary Education
- ・ Research on Educational Applications of Information Technologies
- ・ Informatic Education at the Secondary Level
- ・ Distance Learning
- ・ Advanced Curriculum Projects in Information Processing
- ・ Vocational Education and Training
- ・ Computer Based Training

論文投稿要領 A4用紙にダブルスペースでタイプした英語論文5部。1ページ目に、論文題目、著者名、所属、住所、ショートアブストラクト、上記のテーマの中の関連の深い項目を1つおよびキーワードをかく。

期 日 1989年10月1日（論文提出）
1990年1月（採録通知）

論文投稿先 WCCE/90 Programme Chairman
WCCE/90, PO Box 319
Darlinghurst, NSW 2010
AUSTRALIA

論文募集要項
請 求 先 情報処理学会事務局国際担当 横山

データベース・ウィーク '89

平成元年12月3日(日)から8日(金)まで、(社)情報処理学会(IPSJ)と(財)京都高度技術研究所(ASTEM RI/Kyoto)の共催(又は単独主催)で(1)第1回演繹・オブジェクト指向データベース国際会議(DOOD '89)、(2)DOODチュートリアル、(3)アドバンスト・データベース・システムシンポジウム(ADSシンポジウム)、(4)近未来DB技術展を次のような日程で開催します。奮ってご参加くださいますようお願いいたします。参加については、ホテル等の予約の都合上添付の申込書に必要事項を記入の上、郵送ください。(申込みは個別に行えます)

| | | |
|----------|--------------|------------|
| 12月3日(日) | DOOD チュートリアル | |
| 4日(月) | DOOD '89 | |
| 5日(火) | DOOD '89 | 近未来 DB 技術展 |
| 6日(水) | DOOD '89 | 近未来 DB 技術展 |
| 7日(木) | ADS シンポジウム | 近未来 DB 技術展 |
| 8日(金) | ADS シンポジウム | |

(1) 第1回 演繹・オブジェクト指向データベース国際会議(DOOD '89)

後援 ECRC, ICOT, INRIA, MCC
 協賛 ACM SIGMOD, IEEE CS 等
 会場 京都リサーチパーク サイエンスセンタービル内会議場
 演題 演繹データベース, オブジェクト指向データベース, 両者の融合など

プログラムの概要

12月3日(日) レセプション(6:00 pm~8:00 pm)

京都リサーチパーク・サイエンスセンタービル・ロビー

12月4日(月)

オープニングセッション

Keynote Address

K. Fuchi (ICOT, Japan)

Software Engineering Research and ASTEM/RI Kyoto (tentative)

Y. Ohno (ASTEM/RI, Japan)

セッション1: A Status Update on Deductive Databases

Object Identity and Inheritance in Deductive Databases: An Evolutional Approach (Invited Paper)

C. Zaniolo (MCC, USA)

Query Evaluation in Recursive Databases: Bottom-up and Top-down Reconciled

F. Bry (ECRC, FRG)

セッション2: OODB Features

The Object-Oriented Database System Manifesto (Invited Paper)

F. Bancilhon (Altair, France) et al.

Meta Operations for Type Management in Object-Oriented Databases

L. Tan and T. Katayama (Tokyo Institute of Tech., Japan)

A Tool Kit System for the Synthesis and Management of Active Media Objects

Y. Tanaka (Hokkaido U., Japan)

セッション3: Deductive Query Evaluation (I)

On Termination of Datalog Programs

A. Brodsky and Y. Sagiv (Hebrew U., Israel)

Level-Cycle Merging Method

J. Han (Simon Fraser U., Canada) and L. J. Henschen (Northwestern U., USA)

Distribution of Selections: The Missing Link between Strategies for Relational Databases and Deductive Databases

N. Miyazaki (Oki Electric Industry, Japan)

12月5日 (火)

セッション 4: OODB Theory

A theory of Functional Dependencies for Object-Oriented Data Models

G. E. Weddell (U. of Waterloo, Canada)

Object Identity, Equality and Relational Concept

Y. Masunaga (U. of Library and Information Science, Japan)

A Formal System for Producing Demons from Rules in an Object-Oriented Databases

Y. Caseau (Bellcore, USA)

セッション 5: Deductive Query Evaluation (II)

Combining Deduction by certainty with the Power of Magic

H. Schmidt (MAD Intelligent Systems GmbH, FRG) et al.

On Deductive Query Evaluation in the DedGin System

A. Lefebvre and L. Vieille (ECRC, FRG)

Detecting and Eliminating Redundant Derivations in Logic Knowledge Bases

A. R. Helm (IBM T. J. Watson Res. Center, USA)

セッション 6: OODB Queries

Object-Oriented Queries: Equivalence and Optimization

G. M. Shaw and S. Zdonik (Brown U., USA)

On Natural Joins in Object-Oriented Databases

K. Tanaka and T.-S. Chang (Kobe U., Japan)

Reloops, an Algebra Based Query Language for an Object-Oriented Database System

S. Cluel, C. Delobel, C. Lecluse and P. Richard (Altair, France)

パネル討論

Next Generation Database Management System: Deductive, Object-Oriented, Both or Neither?

司会: M. L. Brodie (GTE, USA)

パネラー: T. Andrews (Ontologic Inc., USA), F. Bancilhon (Altair, France), M. Kifer (SUNY, USA), E. D. Sacerdoti (USA, tentative) 他を予定

バンケット (6:30 pm~8:30 pm) 京都リサーチパーク ATRIUM

12月6日 (水)

セッション 7: Datalog Extension

Integration of Functions Defined with Rewriting Rules in Datalog

S. Grumbach (INRIA, France)

Possible Model Semantics for Disjunctive Databases (Preliminary Report)

C. Sakama (ASTEM/RI Kyoto, Japan)

The Well Founded Semantics for Disjunctive Logic Programs

K. A. Ross (Stanford U., USA)

セッション 8: Integrating Objects and Rules (I)

Formal Models for Object Oriented Databases (Invited Paper)

C. Beeri (Hebrew U., Israel)

Foundations of a High-order Rule Language for Non-1 NF Deductive Databases

Q. Chen (Tsing-Hua U., China)

Towards a Deductive Object-Oriented Database Language
S. Abiteboul (INRIA, France)

セッション 9: Integrating Objects and Rules (II)

Semantics and Evaluation of Rules over Complex Objects
A. Heuer (Tech. U. of Clausthal, FRG) and P. Sander (U. of Karlsruhe, FRG)

Inference Rules in Object Oriented Programming Systems
L. Wong (National U. of Singapore, Singapore)

Software Process Modelling as a Strategy for KBMS Implementation
M. Jarke, M. Jeusfeld and T. Rose (U. of Passau, FRG)

セッション 10: Query Translation

Query Optimization in Database Programming Languages
P. Valduriez and S. Danforth (MCC, USA)

Integrating Complex Objects and Recursion
H. Schoning (U. of Kaiserslautern, FRG)

OOLP: A Translation Approach to Object-Oriented Logic Programming
M. Dalal (Rutgers U., USA) and D. Gangopadhyay (IBM T. J. Watson Res. Center, USA)

参加登録費 一般: 30,000 円 (事前登録)/40,000 円
学生: 10,000 円 (事前登録)/18,000 円
事前登録は 1989 年 11 月 1 日で締切る。
バンケット (12 月 5 日) 参加料は別途 5,000 円必要。

問合せ先 DOOD '89 事務局
〒600 京都市下京区中堂寺南町 17
京都リサーチパーク サイエンスセンタービル
(株)サイエンスセンター・インターナショナル (SCI) 内
(Tel. 075 (322) 7888 (代) FAX. 075 (322) 5348 宮崎)

(2) DOOD チュートリアル

会場 京都リサーチパーク内 (財)京都高度技術研究所 2F 研修室
主旨 演繹データベース, オブジェクト指向データベースに関する基礎概念および応用に関して, 主に邦人を対象としたチュートリアル講演を行なう。

プログラム [セッションA]

午前 10:30~午前 11:50 オブジェクト指向データベース (基礎概念) 田中 克己 (神戸大)
午後 1:00~午後 2:20 演繹データベース (基礎概念) 西尾章治郎 (大阪大)

[セッションB]

午後 2:30~午後 3:50 オブジェクト指向データベースシステムのアーキテクチャ (仮題)

Won Kim (MCC)

午後 4:00~午後 5:20 オブジェクト指向データベースの応用 (仮題)

Stanley Zdonik (ブラウン大学)

参加費

| | 全セッション | セッションA | セッションB |
|----|----------|---------|---------|
| 一般 | ¥ 15,000 | ¥ 8,000 | ¥ 8,000 |
| 学生 | ¥ 3,000 | ¥ 2,000 | ¥ 2,000 |

定員 100人

問合せ先 DOOD チュートリアル・展示会 事務局
〒600 京都市下京区中堂寺南町 17

京都リサーチパーク (財)京都高度技術研究所内
(Tel. 075-315-3625 FAX. 075-315-3614 森田)

(3) アドバンスト・データベース・システム・シンポジウム

- 会場** 京都リサーチパーク サイエンスセンタービル内会議場
- 主旨** 次世代データベースシステム技術の研究開発が国内外において急速に活発化しております。本シンポジウムでは、今回、次世代データベースシステムに関連する基礎的な問題から応用事例にいたるまでの先鋭的な論文を集めることができました。次世代データベースシステムの今後の方向や問題点などを考える上で興味深い発表が国内外から行なわれる予定です。特に、今年度は、同時期に京都で開催される DOOD '89 に引続いて本シンポジウムを行うことにより、国際交流を深める場としても有用な機会となると思われます。奮ってご参加下さいませようお願いいたします。
- 内容**
- (a) 発表は、7日は英語、8日は日本語による発表とする予定。
 - (b) 興味の高いテーマについて特別講演・招待講演・サーベイなどを行う予定。
特別講演：(1) 外国人研究者(依頼中)
(2) 依頼中「CIMとデータベース」(仮題)
招待講演：(1) 依頼中「フェジィ・データベースの動向」(仮題)
(2) 横田一正氏(ICOT), 西尾章治郎氏(大阪大学)
「オブジェクト指向データベースにおける項表現」(仮題)
(3) 宮地泰造氏(三菱電機)「データベースにおけるハイパーテキスト」
(4) 宮崎収兄氏(沖電気)「演繹データベースの問い合わせ最適化の動向」
 - (c) パネル討論「ハイパーメディアとデータベースシステム」を予定。
司会：田中克己(神戸大学)
パネラー：田中謙氏(北海道大学)
本田克己氏(YHP)
下條真司氏(大阪大学)
暦本純氏(NEC) 他を予定。

参加申込みについては添付の申込書をご利用ください。但し、論文集のみの希望の方は、下記にお申込みください。

問合せ先 (社)情報処理学会 アドバンスト・データベース・システムシンポジウム係
〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (Tel. 03 (505) 0505)

(4) 近未来 DB 技術展(出展募集中)

- 会場** 京都リサーチパーク内 (財)京都高度技術研究所 5, 6Fフロア
- 主旨** データベースシステム、ハイパーメディアシステムを集めた展示会、および展示品に関する開発メーカー担当者などによる技術的な説明発表会を行なう予定です。
- 展示内容** (説明発表を含めて) 募集中：国内企業 30 社、海外企業数社、国内外学術機関を予定。
データベース管理システム(DBMS)、データベース設計支援ツール、マルチメディア・データベース管理システム、ハイパーテキスト、ハイパーメディア、マルチメディアパソコン/ワークステーション
- 問合せ先** DOOD チュートリアル・展示会事務局
〒600 京都市下京区中堂寺南町 17
京都リサーチパーク (財)京都高度技術研究所内
(Tel. 075-315-3625 FAX. 075-315-3614 笹倉)

データベース・ウィーク '89 参加登録および宿泊申込書

| | | | |
|--|---|---|--|
| 氏名 (日本語) | | 氏名 (英語) | |
| 所属 (日本語) | | 所属 (英語) | |
| 住所 (日本語) | | | |
| 住所 (英語) | | | |
| 電話 | fax | e-mail | |
| DOOD チュートリアル 参加登録費 | 一般 | <input type="checkbox"/> 全セッション (¥15,000) <input type="checkbox"/> セッションB (¥8,000) | <input type="checkbox"/> セッションA (¥8,000) |
| | 学生 | <input type="checkbox"/> 全セッション (¥3,000) <input type="checkbox"/> セッションB (¥2,000) | <input type="checkbox"/> セッションA (¥2,000) |
| DOOD '89 国際会議参 加登録費 | 一般 | <input type="checkbox"/> 11月1日まで (¥30,000) | <input type="checkbox"/> 11月2日以降 (¥40,000) |
| | 学生 | <input type="checkbox"/> 11月1日まで (¥10,000) | <input type="checkbox"/> 11月2日以降 (¥18,000) |
| | バンケット | <input type="checkbox"/> 一般・学生とも ¥5,000 | |
| アドバンスト・データ ベース・システム・シン ポジウム参加登録費 | 会員 | <input type="checkbox"/> ¥10,000 | 非会員 <input type="checkbox"/> ¥15,000 |
| | 学生 | <input type="checkbox"/> ¥1,500 | |
| 宿泊予約および予約金 (京都東急ホテル) | ツイン | <input type="checkbox"/> クラスA (¥18,000) <input type="checkbox"/> クラスC (¥11,000) | <input type="checkbox"/> クラスB (¥12,000) |
| | シングル | <input type="checkbox"/> クラスA (¥11,000) <input type="checkbox"/> クラスC (¥5,500) | <input type="checkbox"/> クラスB (¥8,000) |
| | 到着月日 平成元年 月 日 出発月日 平成元年 月 日 宿泊予約金は1部屋につき ¥10,000 です。 | | |
| 支払い方法 | <input type="checkbox"/> 現金書留 <input type="checkbox"/> 振込み (必ず振込用紙のコピーを送付してください) 振込先 富士銀行京都支店 普通預金 No. 430-290030 株式会社 日本交通公社京都支店 | | |
| 申し込み書送付先および 問い合わせ先 | 〒600 京都市下京区東塩小路町 (株)日本交通公社京都支店国際旅行課 DOOD '89 係 担当: 石部, 三上 電話: 075 (361) 7241 Fax. 075 (341) 1028 | | |
| 申し込み期限 | 平成元年 11月 20日 | | |

学術奨励賞候補の推薦について

全国大会で優秀な論文を発表した会員の中から、大学学部卒業後10年未満（またはこれと同等）の若手の科学者・技術者約10名を選び、学術奨励賞を贈呈し表彰いたしております。

つきましては、来る10月16日～18日に九州工業大学（北九州市戸畑区）で開催される第39回全国大会での登壇発表者の中から、下記により受賞候補者1名をご推薦くださいますようお願いいたします。

また、第39回全国大会参加者には会場に推薦用紙を用意してありますので、会場でご推薦くださるようお願いいたします。

なお、受賞者の選定は学術奨励賞委員会（委員長 戸田副会長）で行い、その発表と表彰は来年3月に開催の第40回全国大会（早稲田大学）時に行われる予定です。

記

選定範囲および推薦数

第39回全国大会で発表された優秀な論文の登壇発表者1名

推薦資格 本学会正会員に限る。

推薦方法 官製はがきに、推薦する論文の ①講演番号 ②題目 ③登壇発表者名 ④所属 ⑤出身校（学部）卒年 ⑥推薦理由および推薦者の氏名、所属、住所をもれなくご記入のうえ、本会学術奨励賞係あてお送りください。

推薦締切 平成元年10月31日（当日消印有効）

表彰規程（抜粋）

第5章 学術奨励賞

第19条 学術奨励賞は、情報処理に関する学問、技術の奨励のため、有為と認められる新進の科学者または技術者に贈呈する。

第20条 学術奨励賞を受ける者は、全国大会において優秀な論文を発表した者で、つぎの各号に該当する者から選定する。

- イ 選定の時期において本会会員であること（選定の時期とは、第1回の委員会開催時とする。）
- ロ 講演の時期において大学の学部卒業後10年未満の者またはこれと同等と認められる者であること。
- ハ 大会参加申込の際講演者として登録かつ講演を行った者であること。
- ニ 本奨励賞を受けたことのないものであること。

第21条 第20条の選定は、全国大会終了後速やかに行う。

第22条 学術奨励賞は、毎回約10名ずつ選定し、贈呈する。

第23条 学術奨励賞は、賞状、賞牌および賞金とする。

- 2. 賞金は、1名につき20,000円とする。

支部だより

北海道支部

支部大会案内

—平成元年度電気関係学会北海道支部連合大会—

期 日 平成元年9月30日(土), 10月1日(日)
 会 場 室蘭工業大学(室蘭市水元町 27-1)
 特別講演 ドイツ語圏の俳句 坂西 八郎(室蘭工大)
 懇親会 9月30日(土) 18:00~ 室蘭工業大学 学生会館 会費 3,500円(学生 2,000円), 当日受付。
 問合せ先 060 札幌市北区北 13 条西 8 丁目 北海道大学工学部電気工学科事務室内
 電気関係学会北海道支部連合大会実行委員会事務局 Tel. 011 (716) 2111 (内 6514)

中部支部

支部大会案内

—平成元年度電気関係学会東海支部連合大会—

期 日 平成元年10月2日(月), 3日(火)
 会 場 静岡大学工学部(浜松市城北 3-5-1)
 特別講演 光と共に35年(2日 15:00~17:00) 晝馬 輝夫(浜松ホトニクス)
 シンポジウム(依頼)
 画像デバイス技術の展開とその応用 座長 萩野 實(静大)
 高速リニアモータ鉄道の開発動向 座長 鬼頭 幸生(名大)
 最近のセンサ技術 座長 内川 嘉樹(名大)
 種々のプログラミングパラダイムの比較と効果 座長 落水浩一郎(静大)
 音声・画像の帯域圧縮 座長 板倉 文忠(名大)
 最近の半導体デバイス 座長 梅野 正義(名工大)
 一般参加費 講演者以外は, 参加費(正会員 500円, 会員外 800円, 学生無料)を当日受付で支払い, 参加章を受取ること。ただし, 論文集購入者は参加費不要。
 懇親会 2日(月) 17:20~19:30 静岡大学工学部会館 会費 3,500円(学生 2,000円)
 参加希望者は当日大会受付で会費を添え申込むこと。
 問合せ先 464-01 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部電気系教室
 電気関係学会東海支部連合大会実行委員会 Tel. 052 (781) 2222

専門講習会

—パソコンの応用技術—

期 日 平成元年11月8日(水), 9日(木)
 会 場 名古屋通信ビル 2階ホール(名古屋市中区千代田 2-15-18)
 定 員 120名(先着順)
 会 費 会員 10,000円(学生 5,000円), 会員外 15,000円
 申込方法 はがきに「住所, 氏名, 勤務先(電話番号), 所属学協会名」を記して10月20日(木)までに申込

む。なお、同時に会費を下記の方法で送金のこと。参加決定者には参加証を送ります。テキストは当日会場で渡す。テキストのみの申込みは受けません。

送金方法

1. 現金書留：申込内容を適当な用紙に記入し、同封のこと。
2. 銀行振込：三井銀行本山支店（普通預金）口座名「電気学会東海支部専門講習会」
口座番号 969-589 へ振込む。その場合、はがきでの申込者は必ず銀行振込と明記のこと。

申込先

464-01 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部電気系教室内
電気学会東海支部 Tel. 052 (781) 2222

プログラム

8日(水)

- | | |
|--------------------------------------|--------------|
| 序論 (10:00~10:20) | 岩住 哲朗 (名工大) |
| 自家用高低圧遮断器の選定エキスパートシステム (10:20~12:00) | 鬼頭 幸生 (名大) |
| パソコンによるニューロ・コンピューティング (13:00~14:40) | 岩田 彰 (名工大) |
| 機械設計におけるパソコン CAD (15:00~16:40) | 長田 孝義 (大隈鉄工) |

9日(木)

- | | |
|--|-------------------|
| パソコン通信と無線 LAN の動向 (10:00~11:40) | 石松 彰, 中村 謙一 (沖電気) |
| パソコンによる時系列信号のデータ処理 (13:00~14:40) | 井 研治 (三重大) |
| 教材開発支援システム "SCHOOL-ACF" の開発と利用状況について (15:00~16:40) | 関 幸一 (富士通) |

講演会

- | | |
|------|---|
| 日時 | 平成元年10月31日(火) 15:00~17:00 |
| 会場 | 三重大学工学部 20 番講義室 (津市上浜町 1515) |
| 演題 | これからのソフトウェア・システム開発の展望 花田 收悦 (NTT ソフトウェア研) |
| 参加費 | 無料 (参加資格は問いません) |
| 問合せ先 | 三重大学工学部電子工学科 大山口通夫 Tel. 0592 (32) 1211 |
| 日時 | 平成元年12月6日(水) 14:00~16:00 |
| 会場 | 三重大学工学部 20 番講義室 |
| 演題 | ファジィ理論とその応用 松本 邦顕 (日立) |
| 参加費 | 無料 (参加資格は問いません) |
| 問合せ先 | 三重大学工学部電子工学科 木村文隆 Tel. 0592 (32) 1211 |

関西支部

第1回 ソフトウェア研究会

- | | |
|-----|--|
| 期日 | 平成元年10月12日(木) 13:00~16:40 |
| 会場 | (財)関西情報センター会議室 (大阪市北区梅田1丁目3番 1-800号, 大阪駅前第1ビル8階) |
| 定員 | 約50名 |
| 資料代 | 600円 |

プログラム

テーマ「エキスパートシステム構築支援ツール」

- | | |
|---------------------------------------|------------------------|
| (1) エキスパートシステム構築支援ツールの現状と動向 | 馬野 元秀 (阪大) |
| (2) 知識情報処理システム構築支援ツール XPT-II | 高田 司郎 (CSK) |
| (3) KBMS における ES 開発支援機能について (仮題) | 森原 一郎 (NTT) |
| (4) 統合化エキスパートシステム開発環境 GURU の機能説明と開発事例 | 柳田 俊一 (日本コンピューター・システム) |

問合せ先 情報処理学会関西支部 Tel. 06 (346) 2543

中国支部

支部大会案内

—平成元年度電気関係学会中国支部連合大会—

期 日 平成元年 10 月 29 日 (日)
会 場 広島大学 (東広島市西条町大字下見)
懇親会 10 月 29 日 (日) 特別講演終了後 会費 3,000 円
なお, 参加希望者ははがきで 10 月 19 日 (木) までに申込み, 会費は当日受付で支払うこと。
申込先 730 広島市中区小町 4-33 中国電力(株)営業部内
照明学会中国支部 (山沢) Tel. 082 (241) 0211 (内 3353)

四国支部

講演会

日 時 平成元年 11 月 16 日 (木) 14:30~16:30
会 場 高知工業高等専門学校視聴覚室 (高知県南国市物部字新開乙 200-1)
演 題 神経生理学における情報処理 佐藤 隆幸 (高知医大)
参加費 無 料 (参加資格は問いません)
問合せ先 高知工業高等専門学校電気工学科 益弘昌典 Tel. 0888 (63) 3141

九州支部

支部大会案内

—電気関係学会九州支部 第 42 回 連合大会—

期 日 平成元年 10 月 13 日 (金), 14 日 (土)
会 場 佐賀大学理工学部 (佐賀市本庄町 1)
特別講演 13 日 (金) 15:30~17:00 教養部大講義室
魏志倭人伝と吉野ヶ里遺跡 高島 忠平 (佐賀県教育委員会)
懇親会 10 月 13 日 (金) 18:00~20:00 佐賀大学学生会館大食堂
会費 4,000 円 (同伴家族・学生 2,000 円)。参加希望者は 9 月 30 日 (土) までに代金を添え申込むこと。
申込先 812 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学工学部電気工学教室内 電気関係学会九州支部連合会
Tel. 092 (641) 1101 (内 5300) (郵便振替口座番号 福岡 8-33001)
見学会 10 月 12 日 (木) 13:00~16:00
場所 吉野ヶ里遺跡 (佐賀県神埼町・三田川町: 佐賀大から貸切りバス 30 分)
参加費 無料, 定員 90 名 (申込先着順)
申込方法 はがきまたは封書にて, 氏名, 勤務先, 住所, 電話番号を記入のうえ, 下記あて申込むこと。
申込先 840 佐賀市本庄町 1 佐賀大学理工学部電子工学科内
電気関係学会九州支部連合大会実行委員会 Tel. 0952 (24) 5191 (内 2658, 2660, 2654)